



# 新潟大学医学部100周年記念アルバム

新潟大学医学部学士会

## 写真でたどる 新潟大学医学部の歩んできた100年

学士会会長

追手 巍

明治43(1910)年に官立新潟医学専門学校としてスタートした私ども新潟大学医学部は、今年、記念すべき創立100周年を迎えた。この歴史を写真でたどってみようと学士会では初めての記念アルバム集編纂作業に取り組んできた。編集ワーキンググループ主任の成澤林太郎先生を中心に成田美和子、鳥谷部真一、飯合恒夫、井口清太郎各先生がご多忙のなか、頻りに集合し、編纂作業に専念、ついに約4年間をかけて記念アルバム発行にまでこぎつけていただいた。

この100年間のうち、新潟医学専門学校 964名、新潟医科大学 1,974名、新潟医科大学附属医学専門部 658名、新潟大学医学部 5,637名の卒業生を世に輩出してきた。そして他大学出身者 1,406名を加え、10,639名の方が学士会会員として登録されてきた。現会員数(平成22年3月31日現在)は7,109であるから3,530名の方々が既にこの世を去られている。

この記念アルバムでは100年の新潟大学医学部の事象を、そして歴史を築き上げてきた上述の皆様を一人でも多く画像に残しておきたいと企画された。“Seeing is Believing”、「百聞、一見にしかず」である。1枚の写真が教えてくれる情報量、そして思い(想い)は大きい。皆様がそれぞれの立場からこのアルバムをご覧いただき、時代をそして個人を思い(想い)起こしていただければ幸いである。

できるだけ多くの同窓生を映し出したいという意図から、これまで編纂された卒業アルバムから多くの写真を引用させていただいた。ただ卒業アルバムを作成しなかった年代もあり、そのような場合は主に同窓生から寄贈された貴重な写真を掲載させていただいた。容量の限定されたアルバム集に収集された全ての写真を掲載する事は困難であり、編集ワーキンググループが鋭意選択した写真を

掲載した点はご容赦願いたい。掲載写真の100倍以上ある全写真は学士会でデジタル化し、大事に台帳に記し保存してある。新しく始まる今後の新潟大学医学部の歴史保存に大きく貢献するはずである。

最後に貴重な写真及び資料を提供していただいた同窓生の皆様、あるいはそ  
のご家族の皆様には心より感謝申し上げたい。アルバム編集には100周年記念  
準備室の小泉洋一、丸山 理両氏の献身的な協力があった。そして資料のデジ  
タル化から編集立案、ワーキンググループ諸先生や準備室諸氏との連携、アル  
バム発行まで全ての過程で労力を注いでいただいた博進堂、星野景子氏には準  
備室の両氏とともに記念アルバム編集ワーキンググループを代表して深く感謝し、  
御礼申し上げたい。

平成22年6月吉日

## 謝辞

この記念アルバムの発刊にあたって多くの方々のご協力をいただきました。

学会会報や有任だよりなどでの呼びかけに、貴重なアルバムや写真、関連資料が多数寄せられました。ご提供いただいた全ての写真を本誌に掲載することはできませんでしたが、医学部の大切な歴史資料として記録し、保管致します。

なお写真下の「 」内のキャプションは、原本の卒業アルバムにあるものをそのまま（一部は当用漢字に書きかえて）引用しています。学年ごとに表現方法が異なっていますが、それも100年のあゆみとご了解の上、写真の背景を想像しながら眺め楽しんでいただければ幸いです。

## 記念アルバム編集ワーキンググループ

成澤林太郎、成田美和子、鳥谷部真一、飯合恒夫、井口清太郎、青柳 豊、追手 巍

## 目次

卷頭言	写真でたどる 新潟大学医学部の歩んできた100年 学士会会長 追手 巍	1
序 章	赤門と松	5
第1章	大正期 新潟医学専門学校時代	9
第2章	昭和期 新潟医科大学時代	23
第3章	昭和期 新潟医科大学附属医学専門部時代	47
特 集	医学生時代 医学大運動会 クラブ活動 クラスマッチ 教授対抗野球 医学祭 園遊会 ヒポクラテスの木	53
第4章	昭和期 新潟大学医学部医学科時代	71
第5章	平成期 新潟大学医学部・新潟大学大学院医歯学総合研究科時代	109

## 序章



### 赤門と松



医学部表門と赤煉瓦塀は平成17（2005）年11月10日に国の有形文化財に登録されました。煉瓦塀は明治44年に、表門は大正3年に新潟医学専門学校講堂の主門として造られ、「赤門」の愛称で、その周辺の松とともにこの100年の歴史を刻んできました。赤門と本館講堂は、第1回卒業アルバム（大正3年）から登場し、ほとんどの卒業アルバムの巻頭ページに掲載されています。

この100年分のアルバムは人々の様子とともに、100年間の赤門と松の姿も伝えてくれています。必然的に記念アルバムの始まりのページには、この100年間の赤門と松を編集した「序章」が設けられました。

## 赤門と松

赤門は医学部の代表的な建造物であり、医学部100年の歴史を静かに見守ってきました。周囲に3本の松を従え、時代とともに幾分その姿を変えながら、今も堂々たる威風を漂わせています。その変遷を卒業アルバムの写真でたどってみましょう。

3本の松の1本目は赤門の正面奥にある、あまり背の高くないこんもりとしたもので、その根元には「第2回卒業記念」と書かれた石碑があります。この松は第2回卒業アルバムにも登場しますので、大正4(1915)年頃に植樹されたようです。本館講堂が解体され車の出入りが頻繁になってきた頃、この松の移動や撤去が検討されたようですが、その難を免れ今も100年前とほとんど変わらない姿で残っています。

もう1本は赤門から構内に入ってすぐ左にある背の高い松です。この松には初期の卒業アルバムにちょっとしたミステリアスな変遷がみられます。この松は大正3(1914)年の第1回卒業アルバムに写っていますが、大正4(1915)年の第2回卒業アルバムには写っていません。ところが、大正5年(1916)年の第3回卒業アルバムには再び同じ位置に写っています。第1回卒業アルバムと第3回のそれをよく見比べてみますと、幹の太さや枝振りなどからこの2本は明らかに異なる松と考えられます。なぜ、短期間に2代目の松を植樹することになったのか。今となっては知るすべもありませんが、一説には初代の松は赤門の「かぶり松」としては適当でなかったため、植え替えられたのではないかとのことです。

さて、もう1本は赤門に向かって右側の一番目立たない小さな松ですが、これは第1回卒業アルバムから見るができます。ということは、この松が3本の中で一番古いことになります。門の側で控えめに医学部の歴史を見守ってきてくれたと思うとこの松を見る目も変わってきます。



赤門向かって左に背の高い松、右に背の低い松が見えます  
大正3(1914)年卒業アルバム



赤門向かって左の背の高い松が消え、  
赤門正面奥にもう1本の松が見えます  
大正4(1915)年卒業アルバム



赤門向かって左に背の高い松が再び見えます  
大正5(1916)年卒業アルバム



大正7(1918)年卒業アルバム

赤門の扉にも変遷がみられます。昭和16(1941)年(B16後期)の卒業アルバムには、赤門の扉が写っていません。この年は太平洋戦争開戦の年ですが、すでに鉄の供出が始まっていたと思われます。

昭和50(1975)年に本館講堂が解体され、赤門から見る構内の風景は一変しました。昭和57(1982)年には、門柱の間隔を広げる必要から赤門自体が一旦解体され、正確に復元されました。柱頭と台座の花崗岩はそのまま使い、赤煉瓦は新しい物が使用されました。袖柱は解体の時に撤去されましたが、ツタの絡まる約149mの赤煉瓦塀はもとのまま残されました。

赤門は正式には『新潟大学医学部表門』と称し、赤門および煉瓦塀はその歴史的価値が認められ、平成17(2005)年に国の登録有形文化財に指定されました。それを示すプレートによれば、『煉瓦塀は、新潟医科専門学校(現新潟大学旭町学術資料展示館)の塀として明治44年(1911)に、表門は、同講堂の正門として大正3年(1914)に建てられた』とあります。旧新潟師範学校記念館(現新潟大学旭町学術資料展示館)も赤門と同時に有形文化財として登録されました。

創立100周年の今年、赤門に2度目の修復がなされました。北海道小樽運河の赤煉瓦が使用され、工事は5月に無事終了しました。これは学会名誉会員である三浦真一(B21)、渋谷昭徳(B28)、横田力(B29)諸氏から(財)新潟医学振興会を通じてのご寄付により実現したもので、お三方のお名前を記した札が赤門裏側に設置されています。赤門修復と同時に正面の松を取り囲む石垣も新しく修復されました。

卒業生にとって懐かしい思い出の風景である赤門は、本学の象徴としてそして文教地区の歴史的景観として、これからも大切に守られ愛され続けることでしょう。



赤門の扉がなくなっています  
昭和16(1941)年卒業アルバム



本館講堂を背にした冬の赤門と3本の松  
昭和26(1951)年卒業アルバム



初期の研究棟を背にした赤門と3本の松  
昭和58(1983)年卒業アルバム



研究棟(耐震補強後)を背に、  
修復工事を終えた赤門と3本の松  
平成22(2010)年6月撮影

# 第1章

## 大正期 新潟医学専門学校時代



ポーツマスにおいて日露講和条約が調印された明治38 (1905) 年ころには、新潟県においても医学専門学校設置運動が盛んになり、仙台、金沢、岡山、長崎、千葉に続いて明治43 (1910) 年9月1日に官立新潟医学専門学校 (新潟医専) が開校されました。第一期生には728名が応募し70名が選抜されたとのこと。

明治19 (1886) 年に竣工された萬代橋 (2004年に「万代橋」から「萬代橋」に名称が戻りました) は新潟大火によってほぼ半分が焼失し、新潟医専開校直前の明治42 (1909) 年に2代目が再架橋されました (写真上)。



大正3(1914)年卒業アルバム



「新潟医学専門学校全景」 大正3(1914)年卒業アルバム



新潟医学専門学校  
第1回卒業アルバム表紙  
大正3(1914)年



「病理解剖」 大正3(1914)年卒業アルバム



初代学校長  
池原康造教授  
大正3(1914)年  
卒業アルバム



「校長ノ題字」  
大正3(1914)年卒業アルバム



「医化学実習」  
大正3(1914)年卒業アルバム



第2回卒業アルバム表紙  
大正4(1915)年



「内科学臨床講義(澤田内科)」 大正4(1915)年卒業アルバム



「大手術室」 大正4(1915)年卒業アルバム



大正4(1915)年卒業アルバム

### 解剖祭

明治44年10月16日西堀通十番町の泉性寺において第一回解剖祭が行われました。境内の一隅に供養塔が建立され、以降、年一回の解剖祭が執り行われております。



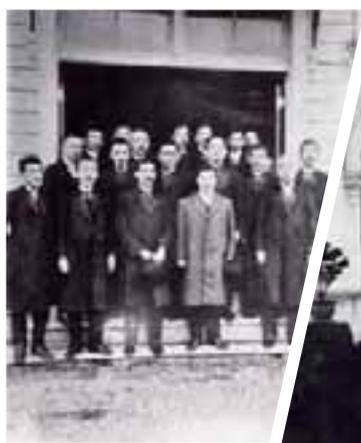
大正3(1914)年卒業アルバム



現在の供養塔 平成22(2010)年6月撮影



「野口英世博士来校記念」 大正5(1916)年卒業アルバム



「諸博士」



「野口博士講演」 大正5(1916)年卒業アルバム



「来港セル野口博士」

大正6(1917)年卒業アルバム



大正5(1916)年卒業アルバム



「級会大会」 大正5(1916)年卒業アルバム

### 野口英世博士来校

大正4年10月26日午後3時10分より、ロックフェラー研究所から16年ぶりに帰省した野口英世博士の講演会が催されました。演題名は「最近における医学研究の趨勢および二、三の成績」で、結核、梅毒、癌研究などについての総説でした。

講演会場は新潟師範学校講堂で、当時の新潟市における最も広いイベントホールはこの師範学校の講堂であったようです。

野口博士の宿泊先は、現在の新潟市役所(旧県庁)の斜め向かい(国道116号線沿い)の大野屋旅館の支店(本店は古町)でした。支店とはいえ、規模は本店よりも大きく、医専や県庁を訪れる客人の定宿であったようです。



第3回卒業アルバム表紙

大正5(1916)年



「第四回卒業生一同」 大正6(1917)年卒業アルバム



大正6(1917)年卒業アルバム



「故 池原校長御葬儀」 大正6(1917)年卒業アルバム

右上の写真は、池原校長ご葬儀会場であった長善寺に向かう様子です。古町7番町あたりの風景と思われます。長善寺はその後警察学校近くに移転しています。



「附属医院前車道」  
大正6(1917)年卒業アルバム



「生理学実験」  
大正6(1917)年卒業アルバム



「標本室」  
大正6(1917)年卒業アルバム



「万能放射器」 大正7(1918)年卒業アルバム



「附属医院薬局」 大正7(1918)年卒業アルバム



「附属医院病所」 大正7(1918)年卒業アルバム



「病理学標本室」 大正7(1918)年卒業アルバム



「附属医院製薬部」 大正7(1918)年卒業アルバム



「汽罐室」 大正7(1918)年卒業アルバム



「第五回卒業生」 大正7(1918)年卒業アルバム

## 校歌と校旗の制定

大正4年11月9日に校旗が制定されました。校旗の中央には、学生帽の徽章と同様の新潟医学専門学校のイニシャルのNMの文字がデザインされています。

校歌の制定年月日は明らかではありません。校歌制定の要望は学生側から自然発生的に生じたと言われていますし、校旗制定以前とする証言が多いようです（創立75周年記念誌より）。作詞作曲は東京音楽学校の芳丸一昌教授と楠見恩三郎教授によるもので、学生のドイツ語会話クラブの世話をしていた新潟カトリック教会の宣教師 W.Stocker氏によって独訳もされており、日独語両方で全校生徒に愛唱されました。



大正8(1919)年卒業アルバム



二代学校長 池田廉一郎教授  
大正8(1919)年卒業アルバム



「池原記念館」 大正8(1919)年卒業アルバム



大正3(1914)年卒業アルバム



「記念館娯楽室」  
大正10(1921)年卒業アルバム



「記念館食堂」  
大正10(1921)年卒業アルバム



「第六回卒業生」 大正8(1919)年卒業アルバム



「雨天体操場／体操」 大正9(1920)年卒業アルバム



「胎生学講義」 大正10(1921)年卒業アルバム



「検眼鏡実習」 大正9(1920)年卒業アルバム



「化学講義」 大正9(1920)年卒業アルバム



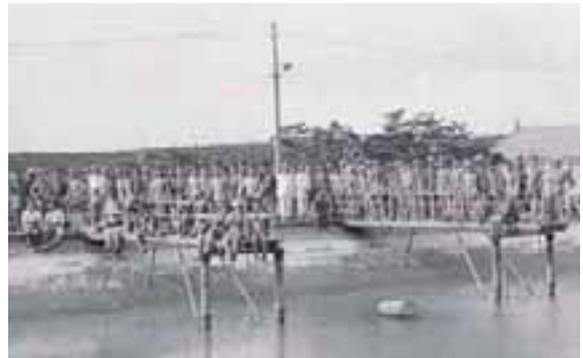
「組織学実習」 大正9(1920)年卒業アルバム



「加門講師送別記念」 大正9(1920)年卒業アルバム

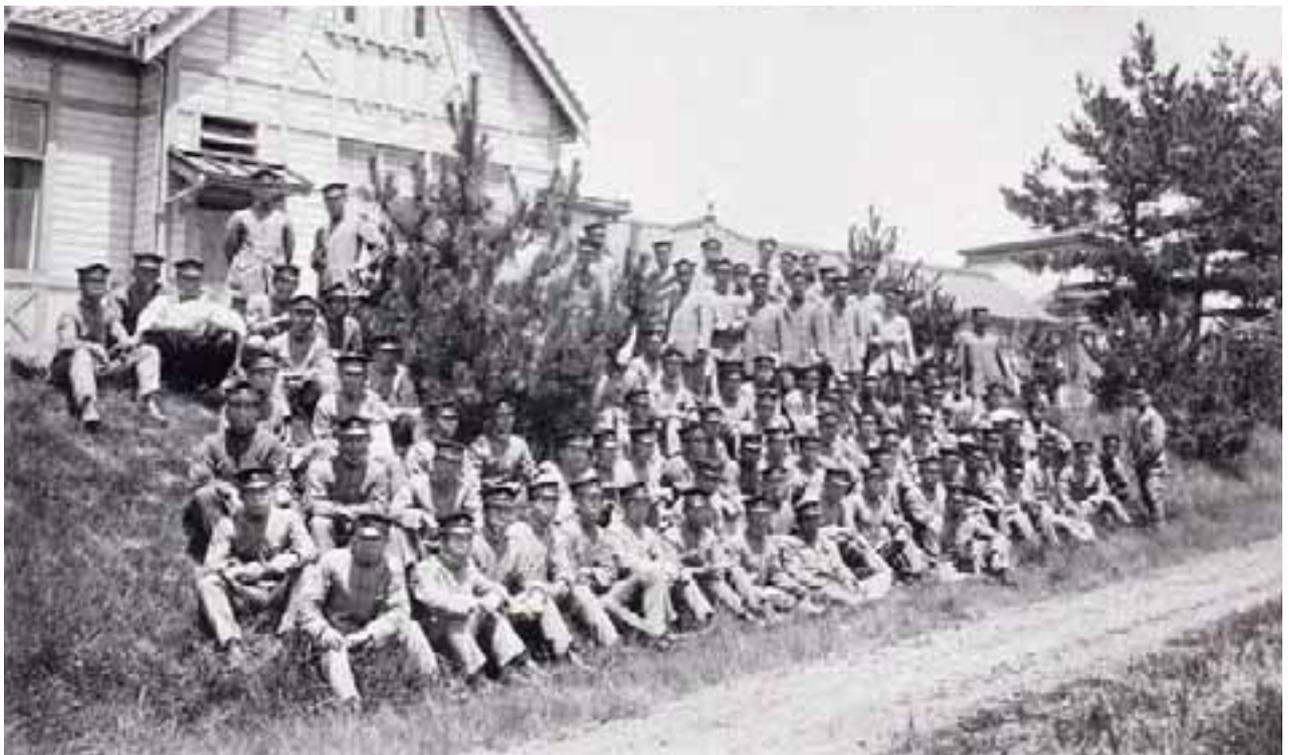


「石英燈治療」 大正10(1921)年卒業アルバム



「水道貯水池見学」 大正10(1921)年卒業アルバム

「附属医院病室(上下)」 大正9(1920)年卒業アルバム



「入学当時」 大正10(1921)年卒業アルバム



第9回卒業アルバム表紙 大正11(1922)年



大正11(1922)年卒業アルバム



大正11(1922)年卒業アルバム



大正11(1922)年卒業アルバム



大正11(1922)年卒業アルバム



大正11(1922)年卒業アルバム



大正11(1922)年卒業アルバム



大正11(1922)年卒業アルバム



大正11(1922)年卒業アルバム



大正11(1922)年卒業アルバム



大正11(1922)年卒業アルバム



第10回卒業アルバム表紙 大正12(1923)年



大正12(1923)年卒業アルバム



大正12(1923)年卒業アルバム



大正12(1923)年卒業アルバム



大正12(1923)年卒業アルバム



大正12(1923)年卒業アルバム



大正12(1923)年卒業アルバム



大正12(1923)年卒業アルバム



大正12(1923)年卒業アルバム



大正12(1923)年卒業アルバム



大正12(1923)年卒業アルバム



「小林講師送別記念」 大正13(1924)年卒業アルバム



「創立十周年記念祝賀会(左) 夜(右)」 大正13(1924)年卒業アルバム



「本島 横田 小池 林 四教授留学記念」 大正13(1924)年卒業アルバム



「宴会」 大正13(1924)年卒業アルバム



「兜島艦見学」 大正13(1924)年卒業アルバム



「北海道方面旅行」 大正13(1924)年卒業アルバム

## 関東大震災と本学の活動

大正12(1923)年9月1日に発生した関東大震災の際には、9月4日午前10時に緊急教授会が開かれ、震災者に対する救護班を編成して上京することが決定されました。

同日の午後6時発の上野行き(おそらく磐越線経由)の夜行列車で第一班が出発しました。蒸気機関車中心だった当時の方が交通機関への被害は小さかったのかもしれませんが、教授会決定後数時間の極めて迅速な対応でした。

第一班は、日暮里長久山本行寺において9日間の救護活動を行いました。震災傷病者の救護活動の大要は、北越医学会や北陸医学会総会において詳細に報告されています。



「東都震災救護班」  
大正13(1924)年卒業アルバム



日暮里長久山本行寺  
大正13(1924)年卒業アルバム



現在の長久山本行寺  
平成22(2010)年5月撮影

# 第2章

## 昭和期 新潟医科大学時代



先進各国のレベルと肩を並べる医学教育を目標として大正11(1922)年(「官立医科大学官制」)が公布され、岡山、千葉、金沢、長崎と共に、総合大学の設立に繋がることをめざして官立新潟医科大学が発足しました。昭和初期は難しい時代であり社会的には不安定でしたが、医療と教育の整備は粛々と進み、地域衛生・福祉事業への参加も始まりました。幕府天領奉行の川村修就が植林した砂防の美林は、増築と拡張工事によって伐採され、赤門付近の煉瓦塀の西側に数本を残す程度になってしまいました。

三代目の萬代橋は昭和4(1929)年に初の日本人のみの手によるケーソン工法によって鉄筋の橋に生まれ変わりました。昭和6(1931)年には隣に昭和橋(今の昭和大橋)が架けられました。



昭和3(1928)年卒業アルバム



新瀉医科大学 第3回卒業アルバム表紙  
昭和3(1928)年



昭和3(1928)年卒業アルバム



二代学長 澤田敬義教授  
昭和6(1931)年卒業アルバム



「教務室」 昭和3(1928)年卒業アルバム



「東山のオドリ」 昭和3(1928)年卒業アルバム



「旭丸進水式当時ニ於ル記念撮影(昭和二年夏)」  
昭和3(1928)年卒業アルバム



「卒業生一同」 昭和3(1928)年卒業アルバム



「本島カップを獲って(1928.11.21 運動会)」 昭和6(1931)年卒業アルバム



「図書館建築中(1929.11)」 昭和6(1931)年卒業アルバム



「嗚呼、焼ける解剖教室(1930.5.8)」 昭和6(1931)年卒業アルバム



「女性譚(1930.4.26 日活撮影)」  
昭和6(1931)年卒業アルバム



「その1週間後」 昭和6(1931)年卒業アルバム



昭和6(1931)年卒業アルバム



「コレクション」  
昭和6(1931)年卒業アルバム



「右端の男 Rachitis に非ず(1928.12 越後湯沢スキー場)」  
昭和6(1931)年卒業アルバム



「病理標本示説 川村教授」 昭和7(1932)年卒業アルバム



三代学長 富永忠司教授  
昭和7(1932)年卒業アルバム



「耳鼻咽喉科」 昭和7(1932)年卒業アルバム



「小児科日光浴室」 昭和7(1932)年卒業アルバム



「関西・仙台二旅シテ」 昭和7(1932)年卒業アルバム



昭和7(1932)年卒業アルバム



「生化学」 昭和7(1932)年卒業アルバム



昭和7(1932)年卒業アルバム



「外科臨床講義」 昭和7(1932)年卒業アルバム



昭和7(1932)年卒業アルバム



平岩章好氏提供



平岩章好氏提供



平岩章好氏提供



平岩章好氏提供



昭和10(1935)年卒業アルバム



「生理学講義」 昭和11(1936)年卒業アルバム



昭和10(1935)年卒業アルバム



「試験」 昭和11(1936)年卒業アルバム



昭和10(1935)年卒業アルバム



昭和10(1935)年卒業アルバム



昭和10(1935)年卒業アルバム



「朝市」 昭和11(1936)年卒業アルバム



「川開き」  
昭和11(1936)年卒業アルバム



昭和10(1935)年卒業アルバム



昭和10(1935)年卒業アルバム



「県庁屋上より」 昭和11(1936)年卒業アルバム



「下手の横好き」 昭和11(1936)年卒業アルバム



「離散会」 昭和11(1936)年卒業アルバム



「離散会」 昭和12(1937)年卒業アルバム



「ブレ公ノ腕二」 昭和12(1937)年卒業アルバム



「臨床講義」 昭和12(1937)年卒業アルバム



「何トカノ Versuch」 昭和12(1937)年卒業アルバム



「生理プリント完成慰労会」 昭和12(1937)年卒業アルバム



「体格検査」  
昭和12(1937)年卒業アルバム



「少シマカリマセンカ」  
昭和12(1937)年卒業アルバム



「早クネ」  
昭和12(1937)年卒業アルバム



「謝恩会」 昭和13(1938)年卒業アルバム



「レンシエノログ」  
昭和13(1938)年卒業アルバム



「之八、レーベルデアル」  
昭和13(1938)年卒業アルバム



「美人像」  
昭和14(1939)年  
卒業アルバム



「マグノスコープ」  
昭和14(1939)年卒業アルバム



### 医大の煙突

昭和6年3月に附属病院の機関室が完工し、高さ42メートルの2本の煙突は、昭和56年の解体まで約半世紀の間、「医大の煙突」としてこの地区のシンボルになりました。太平洋戦争中も附属病院の暖房のために細々とではありますが稼働し続けたようです。現在、医学部周辺は、「旭町」と呼ばれていますが、明治40年当時の新潟医学専門学校敷地予定地(市保有の保安林)の住所は、新潟市大字旭町通一番町字南山七百四十七番地で、医学部周辺は「南山(みなみやま)」地区と呼ばれていました。看護婦宿舎の名称「南山寮(なんざんりょう)」の由来でもあります。



「卒業近し」 昭和14(1939)年卒業アルバム



「飯と学生」  
昭和14(1939)年卒業アルバム



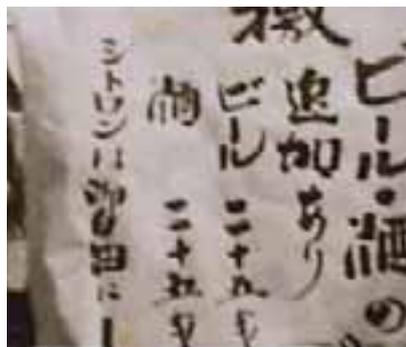
昭和14(1939)年卒業アルバム



「学生街の唄」  
昭和14(1939)年卒業アルバム



「おかずき結び」  
昭和13(1938)年卒業アルバム



昭和13(1938)年卒業アルバム



「校庭の午後」  
昭和13(1938)年卒業アルバム



「病理総論 川村教授」  
昭和15(1940)年卒業アルバム  
永井(植木)博子氏提供



昭和15(1940)年卒業アルバム  
永井(植木)博子氏提供



「学内風景」  
昭和15(1940)年卒業アルバム  
永井(植木)博子氏提供



昭和15(1940)年卒業アルバム  
永井(植木)博子氏提供



昭和15(1940)年卒業アルバム  
永井(植木)博子氏提供



昭和15(1940)年卒業アルバム  
永井(植木)博子氏提供



【勢揃ひ】 昭和16(1941)年後期卒業アルバム



【延髄 平澤教授】  
昭和16(1941)年後期卒業アルバム



【脊髓癆 濱口教授】  
昭和16(1941)年後期卒業アルバム



【ギプス 杉立助教授】  
昭和16(1941)年後期卒業アルバム



【卵巢膿腫 中山教授・梅澤助教授】  
昭和16(1941)年後期卒業アルバム



【酒のみて 別れを惜しむ今宵かな】  
昭和16(1941)年後期卒業アルバム



四代学長 本島一郎教授  
昭和17(1942)年卒業アルバム



「冬の校舎」 昭和17(1942)年卒業アルバム



「Z」 昭和17(1942)年卒業アルバム



「整形外科外来杉立助教授」 昭和17(1942)年卒業アルバム



「Kurve」 昭和17(1942)年卒業アルバム



「教授百面相」 昭和17(1942)年卒業アルバム

### 教授漫像

生化学の有山登教授はスケッチが上手く、多くの教授の似顔絵が残っています。学生にも人気の似顔絵であつたらしく、昭和14年から19年までの卒業アルバムにも掲載されています。写真は昭和17年の卒業アルバムに掲載されたものですが、21名の教授の似顔絵が直筆の名前付きで掲載されています。

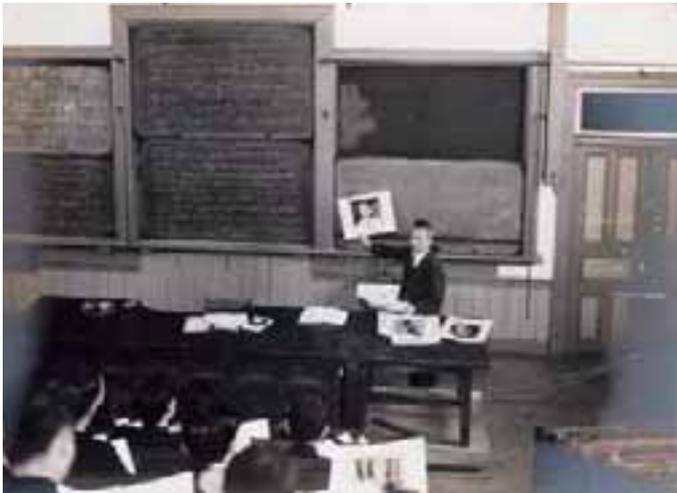


「有山教授」  
昭和15(1940)年卒業アルバム

本島一郎(整形外科、学長)、中村隆治(精神科、病院長)、工藤得安(解剖)、平沢興(解剖)、有山登(生化)、木原玉汝(薬理)、鈴木遂(病理)、赤崎兼義(病理)、宮路重嗣(細菌)、高野與巳(法医)、及川周(衛生)、浜口一郎(内科)、柴田経一郎(内科)、中田瑞穂(外科)、和久井豊一(小児科)、中山栄之助(産婦人科)、橋本喬(皮膚泌尿器科)、熊谷直樹(眼科)、田宮知耻夫(レントゲン科)、横田武三(生理)、鳥居恵二(耳鼻咽喉)



昭和18(1943)年卒業アルバム



昭和18(1943)年卒業アルバム



昭和17(1942)年卒業アルバム



昭和17(1942)年卒業アルバム



昭和17(1942)年卒業アルバム



昭和17(1942)年卒業アルバム



昭和18(1943)年卒業アルバム



昭和19(1944)年卒業アルバム



昭和19(1944)年卒業アルバム



昭和19(1944)年卒業アルバム



昭和19(1944)年卒業アルバム



昭和19(1944)年卒業アルバム



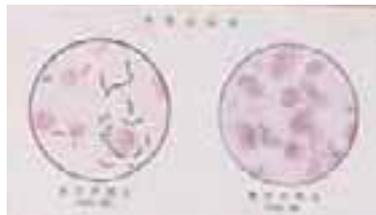
昭和19(1944)年卒業アルバム



昭和21(1946)年卒業アルバム 新島 旭氏提供



「細菌学実習」 昭和21(1946)年卒業アルバム  
新島 旭氏提供



「レントゲン科 野崎教授」 昭和21(1946)年卒業アルバム  
新島 旭氏提供



「大学病院外来」 昭和21(1946)年卒業アルバム  
新島 旭氏提供



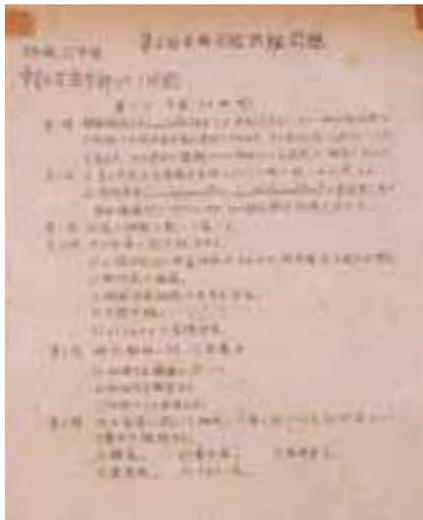
「戦時研究のひと時」 昭和21(1946)年卒業アルバム  
新島 旭氏提供



「新潟放送局にて 生理学高木助教授」  
昭和21(1946)年卒業アルバム  
新島 旭氏提供



「医大講堂 戦中最後のコンサート20.6」  
昭和21(1946)年卒業アルバム  
新島 旭氏提供



第2回医師国家試験問題  
新島 旭氏提供



昭和21(1946)年卒業アルバム  
新島 旭氏提供



昭和22(1947)年卒業生 加納 学氏提供



昭和23(1948)年卒業生 松元 寿氏提供



昭和24(1949)年卒業生 和賀井敏夫氏提供



「天皇行幸」 昭和25(1950)年卒業アルバム



五代学長  
橋本 喬教授  
昭和26(1951)年卒業アルバム

### 昭和天皇行幸

昭和21年から全国的な御巡幸を開始された昭和天皇は、昭和22年10月9日に医学部を見学されました。中田瑞穂教授が脳神経外科学について、伊藤泰一教授(細菌学)と伊藤辰治教授(病理学)がツツガ虫病の研究について説明されました。詳細は創立75周年記念史に掲載されています。



「予診室風景」 昭和25(1950)年卒業アルバム



昭和25(1950)年卒業アルバム



「組織学実習 工藤教授」  
昭和25(1950)年卒業アルバム



「皮膚科外来 橋本教授」  
昭和25(1950)年卒業アルバム



「全員 生理講義」 昭和25(1950)年卒業アルバム



六代学長  
初代医学部長 高野与巳教授  
昭和25(1950)年卒業アルバム



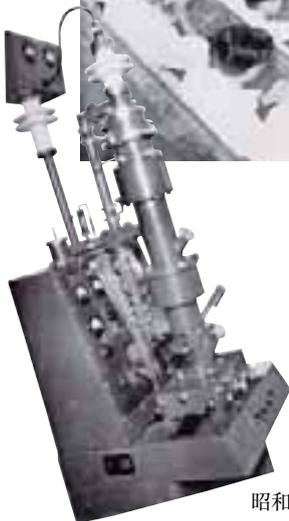
「病理学 伊藤教授」  
昭和26(1951)年卒業アルバム



「生理学 高木教授」  
昭和26(1951)年卒業アルバム



「桂内科臨床講義」  
昭和26(1951)年卒業アルバム



「電子顕微鏡」  
昭和26(1951)年卒業アルバム



「卒業式」  
昭和26(1951)年卒業アルバム



昭和26(1951)年卒業アルバム



昭和26(1951)年卒業アルバム



「耳鼻科外来臨床」  
昭和27(1952)年卒業アルバム



七代学長  
二代医学部長 伊藤泰一教授  
昭和25(1950)年卒業アルバム



「泌尿器科手術」  
昭和28(1953)年卒業アルバム



「生化学講義」  
昭和27(1952)年卒業アルバム



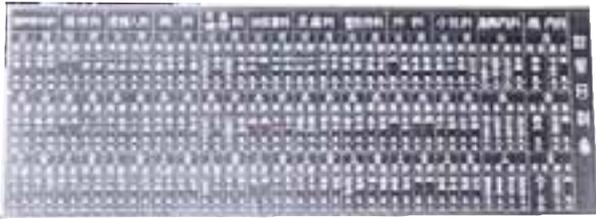
昭和27(1952)年卒業アルバム



「精神科外来臨床」  
昭和27(1952)年卒業アルバム



「病院正門前」 昭和27(1952)年卒業アルバム



「診察日割表」 昭和28(1953)年卒業アルバム



「附属病院大火」 昭和28(1953)年卒業アルバム



「グループ写真」 昭和28(1953)年卒業アルバム



### Der Arzt (Ivo Saliger 作)

「Der Arzt」と呼ばれる左の絵は、20年間整形外科外来診療室に掲げられていました。整形外科初代教授の本島一郎先生が留学から帰国した時に持ち帰られた銅版画です。

残念ながら病院の火災により、この最初の版画は焼失してしまいましたが、後日再度入手され、現在は学士会に保存されています。作者のSaliger(ケーニヒスベルク生まれ)には白血病に侵された20歳の妹がおり、献身的な医療を施したスイス人の主治医へ感謝の気持ちを込めて制作されたとのこと。



「グループ写真」  
昭和28(1953)年卒業アルバム



「全員写真」 昭和28(1953)年卒業アルバム



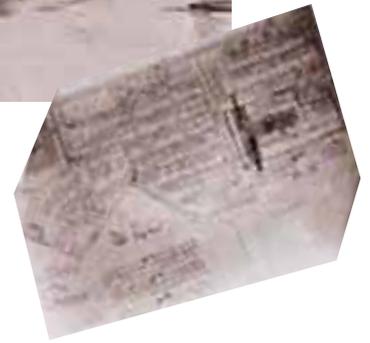
昭和28(1953)年卒業アルバム



「法医学」 昭和29(1954)年卒業アルバム



「再建」  
昭和29(1954)年卒業アルバム



「整形外科ポリクリ」 昭和29(1954)年卒業アルバム



「学内風景」  
昭和29(1954)年卒業アルバム



昭和29(1954)年卒業アルバム



「クラスメート」 昭和29(1954)年卒業アルバム

#### 4人の俳人教授

太平洋戦争を挟んで本学にはホトトギス派の俳人が教授として同時に在職されていた期間があります。中田瑞穂(みづほ)外科学教授、高野與巳(素十)法医学教授、及川周(仙石)衛生学教授と濱口一郎(今夜)内科学教授です。俳誌「まはぎ」(高浜虚子の命名)は昭和4年から50年まで発行されていました。

戦争前後の窮乏の時代、学園の建造物の荒廃と物資不足の中で、教育陣と軍医として赴いた戦地から帰学した人々の学問への情熱が着実に復興への道を拓いた時期のアルバムには、学生にも愛唱されたに違いない先生方の俳句が載っています。

菜の花や牛徐に立ち止まる  
 大学の花を田舎の母仰ぐ  
 石段は老にむづかし夏木立

仙石  
 みづほ  
 素十



昭和25(1950)年卒業アルバム



「仙石や今夜みづほの素十かな」 昭和17(1942)年卒業アルバム

明月の縮架より人の現はるる	仙石
菱舟のゆけば飛び交ふ水すまし	今夜
長話呵々と終わりや菊日和	みづほ
朝顔の双葉のどこか濡れあたる	素十

生涯の仕事に雪に捧げ住む  
 田植すみ家々の牛艶々と  
 ふるさを同うしたる秋天下

仙石  
 みづほ  
 素十



昭和29(1954)年卒業アルバム



「まはぎ」 山井良子氏提供



「若萩」 医学部俳句部の句集

# 第3章

## 昭和期 新潟医科大学附属医学専門部時代



大陸における戦況の拡大に伴って、昭和14（1939）年5月全国官・公立大学に臨時医学専門部を併設することが決定し、本学においても急遽学生が募集されました。第一期生は半年前倒しの卒業となり、軍医として戦地に赴きました。医局員の多くは招集され、戦争さなかの教室では教授以下数名しかいない状況で教育と診療を続行したという記載があります。防空壕構築のため、和風西洋建築の伝統ある講堂などが取り壊され、周辺のポプラ並木も松の木も容赦なく伐採され、南山も姿を変えてしまったようです。

万代橋事件（花火）は新潟大学になる前の年昭和23（1948）年に起こっています。





昭和17(1942)年卒業アルバム



昭和17(1942)年卒業アルバム



昭和17(1942)年卒業アルバム



昭和17(1942)年  
卒業アルバム



昭和17(1942)年卒業アルバム



昭和17(1942)年卒業アルバム



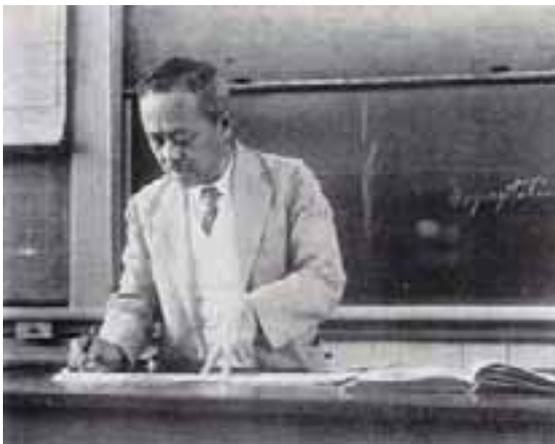
「お前さん大部よくなったねっか!」再来に於ける小山助教授  
鼓膚泌尿器科教室」  
昭和18(1943)年卒業アルバム



「それは何だなあーああ」名講義  
眼科 熊谷教授」  
昭和18(1943)年卒業アルバム



昭和18(1943)年卒業アルバム



「また休んだか」出席調査中ノ生理学」  
昭和18(1943)年卒業アルバム



「憩ひのひとつとき」  
昭和18(1943)年卒業アルバム



「細かいのあったら出してくれ」  
(映画館)」  
昭和18(1943)年卒業アルバム



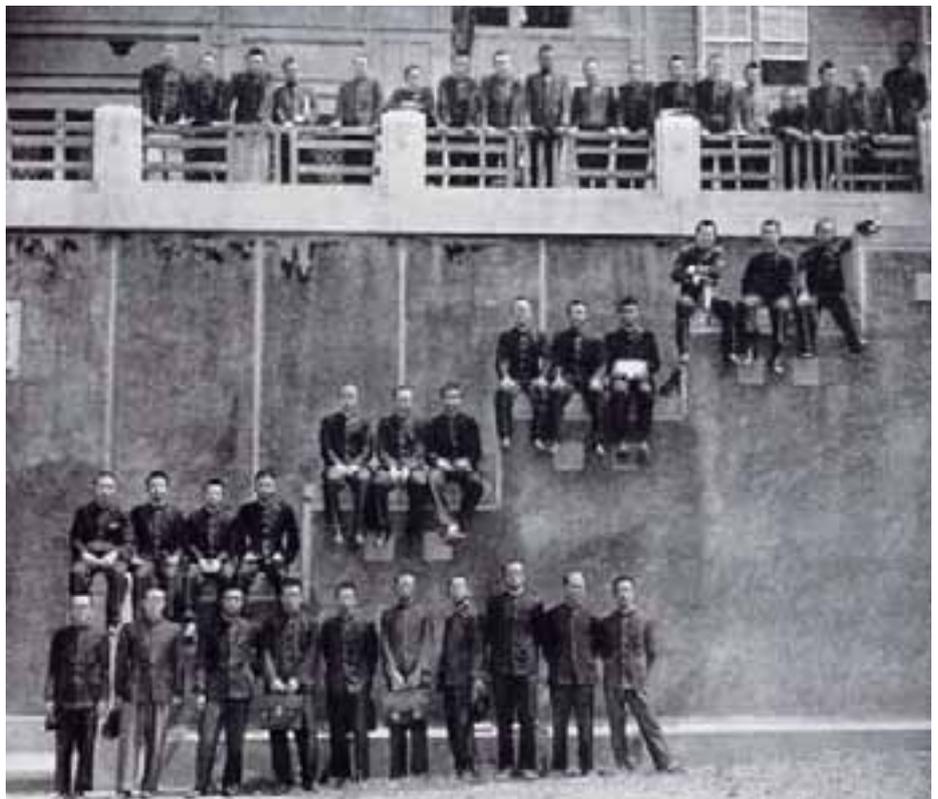
新潟医科大学附属医学専門部  
第1回卒業アルバム表紙  
昭和17(1942)年



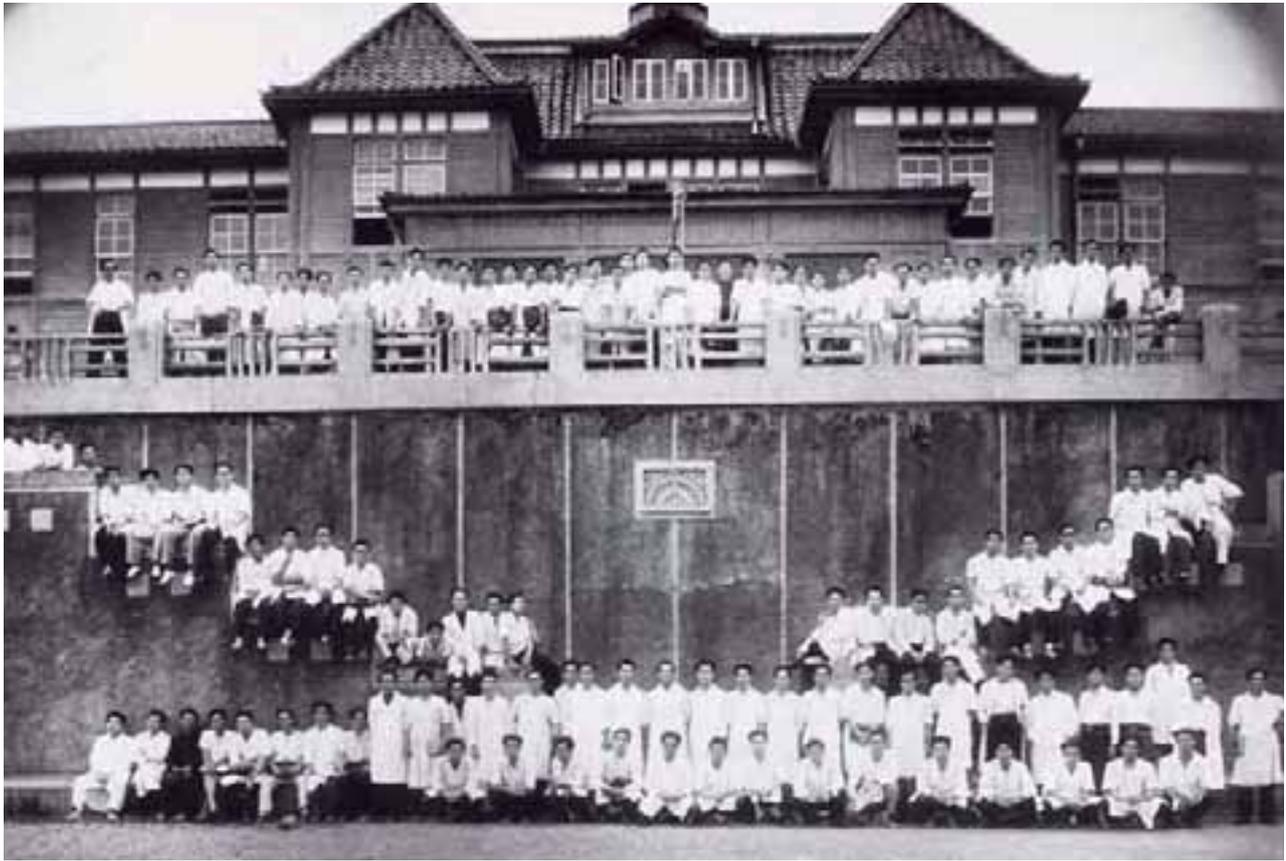
第2回卒業アルバム表紙  
昭和18(1943)年



昭和17(1942)年卒業アルバム



「記念撮影」 昭和18(1943)年卒業アルバム



「クラス一同 病院前にて」 昭和24(1949)年卒業アルバム



「外科外来 中田教授」 昭和24(1949)年卒業アルバム



「眼科暗室 三國教授」 昭和24(1949)年卒業アルバム



「レントゲン治療室 野崎助教授」 昭和24(1949)年卒業アルバム



「敗戦前後」  
昭和24(1949)年卒業アルバム



昭和26(1951)年卒業アルバム



昭和26(1951)年卒業アルバム



昭和26(1951)年卒業アルバム



昭和26(1951)年卒業アルバム



昭和26(1951)年卒業アルバム

# 特集

## 医学生時代



第1回卒業アルバムの編集後記には「大いなる希望と、喜悦に満ちたる追憶とは、現実の両側にあつて我らに力を与え、心を勇躍しむる。過去四歳、潑刺たる學生活の間にて、師の温情と我らの進行との間に刻されたる多くの深き印象は我らの青年期を飾る最意義あるものであければならぬ。」とあります。様々な時代の中で、一人ひとりが潑刺と過ごした青春の1コマが、学生服や白衣姿の写真の他に、運動会、クラブ活動などの行事にも克明に記録されています。

# 医学大運動会

毎年5月の第四土曜日に、医学大運動会が行われます。他の医学部にはない新潟大学医学部だけの伝統行事です。歴史を紐解くと、1911年、新潟医学専門学校第1回創立記念式とともに始まったようです。伝統は脈々と受け継がれ、戦時中にも開催された写真が残っています。現在では、学友会(医学部学生)が中心となって企画され、学生、教員、医学部職員、病院職員、隣接するあゆみ保育園の園児などが参加します。学年対抗、クラブ対抗、医局対抗で得点を競い合います。中でも医局間の競争は凄まじく、趣向をこらした看板の作製や応援の振り付けは新人を中心に約1か月前より準備されます。競技は、むかで競争、借り物競走、パン喰い競争など皆で楽しむものから、マラソン、リレーなど体力の限界に挑戦する種目、ふだん見られないような教員の女装行列や仮装大会などで構成されています。優勝という目標のために各人が一致団結する姿は、円滑なチーム医療を行うのに役立っているのかもしれない。



アルバムに残っている一番古い運動会の写真  
大正3(1914)年卒業アルバム



運動会売店  
大正7(1918)年卒業アルバム



仮装  
大正7(1918)年卒業アルバム



大正9(1920)年卒業アルバム



運動会全景 大正14(1921)年卒業アルバム



余興 大正14(1921)年卒業アルバム



戦時中の大運動会 昭和18(1943)年卒業アルバム



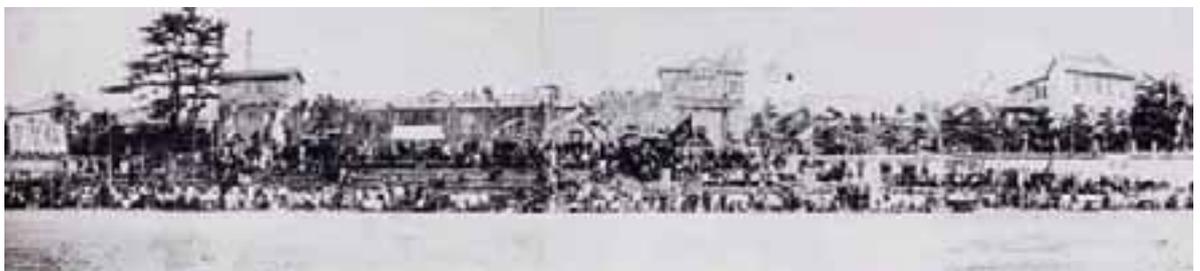
戦時中の大運動会 昭和19(1944)年卒業アルバム



戦後間もなくの運動会 昭和25(1950)年卒業アルバム



戦後間もなくの運動会 昭和25(1950)年卒業アルバム



昭和28(1953)年卒業アルバム



昭和28(1953)年卒業アルバム



昭和29(1954)年卒業アルバム



昭和45(1970)年卒業アルバム



綱引き 昭和46(1971)年卒業アルバム



たばこ火つけ競争 昭和47(1972)年卒業アルバム



リレー 昭和47(1972)年卒業アルバム



仮装 昭和49(1974)年卒業アルバム



看板とのぼり 昭和52(1977)年卒業アルバム



仮装 昭和52(1977)年卒業アルバム



むかで競走  
昭和54(1979)年卒業アルバム



応援  
昭和55(1980)年卒業アルバム



騎馬戦  
昭和57(1982)年卒業アルバム



仮装  
昭和59(1984)年卒業アルバム



マラソン  
昭和60(1985)年卒業アルバム



仮装  
昭和61(1986)年卒業アルバム



雨中の運動会  
昭和63(1988)年卒業アルバム

平成 21 (2009) 年より医学部のグラウンドはなくなり、  
附属小学校のグラウンドを借用して開催されるよう  
になりました。



プログラム (競技順序)

9:00	開会式 1) 役員及び選手整列 2) 開会の挨拶 (内山医学部長) 3) 選手宣誓 4) 諸注意 (桑久俊幸教授) 5) 競技開始
9:20	クラブ対抗リレー予選
9:40	クラス対抗リレー
10:00	クラス対抗大縄跳び～みんなでジャンプ～
10:30	各科対抗リレー予選 (女子、男子、壮年の部)
11:10	ムカデ競争
11:45	子供の時間 ～かけっこ玉入れ～
12:05	魂舞による創作ダンス
12:15	女装コンテスト
12:35	マラソンスタート
13:20	講義競争
14:05	仮装 (先立って優勝旗返還)
14:55	二人三脚借り物競争
15:30	クラブ対抗リレー決勝
15:45	各科対抗リレー決勝
16:05	閉会式 1) 役員及び選手整列 2) 成績発表 3) 講評 (渡藤直人教授) 4) 万歳三唱 (渡藤直人教授) 5) 閉会の挨拶



全景



リレー



応援



縄跳び

平成 21 年度運動会 学友会より寄贈

## クラブ活動

新潟大学医学部はクラブ活動が盛んであることでも有名です。2009年現在22の運動部と8の文化部、2の同好会が学友会として活動しています(新潟大学医学部学友会誌47号より)。学友会は、以前は攻瑤会とっていたようです(大正5(1916)年卒業アルバムより)。運動部は毎年行われる東日本医科体育大会を活動目標としており、文化部はその活動成果を発表会で体現しています。



弓道部  
大正3(1914)年卒業アルバム



相撲部  
大正3(1914)年卒業アルバム



柔道部  
大正4(1915)年卒業アルバム



攻瑤会講演部  
大正4(1915)年卒業アルバム



水泳部  
大正5(1916)年卒業アルバム



野球部  
大正7(1918)年卒業アルバム



徒歩部  
大正8(1919)年卒業アルバム



庭球部  
大正9(1920)年卒業アルバム



攻瑤会委員  
大正10(1921)年卒業アルバム



剣道部  
大正10(1921)年卒業アルバム



謡曲部  
昭和33(1958)年卒業アルバム



ヨット部  
昭和34(1959)年卒業アルバム



文芸部  
昭和35(1960)年卒業アルバム



山岳部  
昭和36(1961)年卒業アルバム



美術部  
昭和37(1962)年卒業アルバム



演劇部  
昭和38(1963)年卒業アルバム

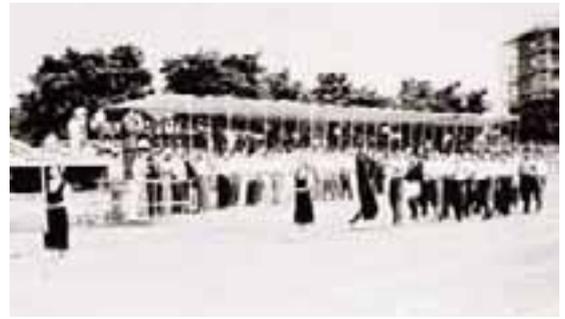


自動車クラブ  
昭和38(1963)年卒業アルバム



民謡部

昭和38(1963)年卒業アルバム



第4回東日本医科学生体育大会(昭和36年夏)

昭和39(1964)年卒業アルバム



写真部

昭和39(1964)年卒業アルバム



LP部

昭和39(1964)年卒業アルバム



ボート部

昭和39(1964)年卒業アルバム



新聞部

昭和41(1966)年卒業アルバム



掲示板

昭和42(1967)年卒業アルバム



エスペラント部

昭和42(1967)年卒業アルバム



熱帯医学研究会

昭和43(1968)年卒業アルバム



聖書研究会

昭和43(1968)年卒業アルバム



日赤奉仕団  
昭和44(1969)年卒業アルバム



卓球部  
昭和45(1970)年卒業アルバム



バスケット部  
昭和48(1973)年卒業アルバム



オーケストラ部  
昭和49(1974)年卒業アルバム



合唱部  
昭和49(1974)年卒業アルバム



陸上部  
昭和50(1975)年卒業アルバム



スキー部  
昭和51(1976)年卒業アルバム



空手道部  
昭和53(1978)年卒業アルバム



合気道部  
昭和54(1979)年卒業アルバム



硬式テニス部  
昭和55(1980)年卒業アルバム



ワンダーフォーゲル部  
昭和56(1981)年卒業アルバム



S55年東医体総合優勝  
昭和57(1982)年卒業アルバム



学友会  
昭和57(1982)年卒業アルバム



江戸千家茶道部  
昭和59(1984)年卒業アルバム



医療問題研究会  
昭和59(1984)年卒業アルバム



準硬式野球部  
昭和60(1985)年卒業アルバム



バドミントン部  
昭和60(1985)年卒業アルバム



弓道部  
昭和60(1985)年卒業アルバム



MEDICS  
昭和60(1985)年卒業アルバム



軟式野球部  
昭和61(1986)年卒業アルバム



バレーボール部  
昭和62(1987)年卒業アルバム



ラグビー部  
昭和62(1987)年卒業アルバム



ESS  
昭和62(1987)年卒業アルバム



俳句部  
昭和62(1987)年卒業アルバム



サッカー部  
昭和63(1988)年卒業アルバム



ゴルフ部  
平成15(2003)年卒業アルバム



魂舞  
平成18(2006)年卒業アルバム



コンピュータ部  
平成20(2008)年卒業アルバム



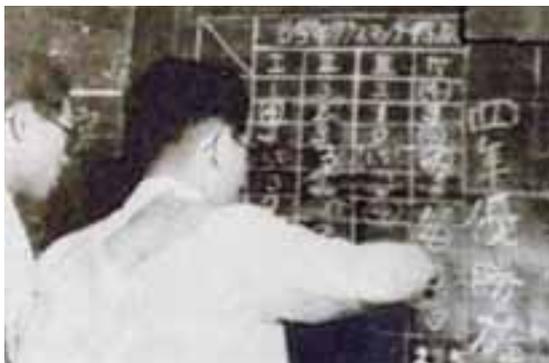
学生のオアシス「成駒」のオパちゃん  
閉店記念テレフォンカードより

# クラスマッチ

新潟大学医学部では毎年各種競技の学年対抗のクラスマッチを行い、クラスの団結と各クラス間の交流を行っています。



「リレー、クラス優勝祝賀会」  
昭和16(1931)年卒業アルバム



「三回目ノ優勝」  
昭和13(1938)年卒業アルバム



戦い終わって  
昭和56(1981)年卒業アルバム



サッカークラスマッチ  
昭和62(1987)年卒業アルバム



「戦たけなは…?」  
昭和6(1931)年卒業アルバム



ラグビークラスマッチ  
昭和50(1975)年卒業アルバム



祝勝会  
昭和60(1985)年卒業アルバム



バレーボールクラスマッチ  
平成9(1997)年卒業アルバム

# 教授対抗野球

毎年、教授が基礎系と臨床系のチームに分かれ、野球大会が行われます。ふだん目にするのでできない教授の珍プレーが見られるため、たくさんの学生が応援に駆けつけます。



昭和34年(1959)年卒業アルバム



15年振り……

## 教授野球大会

臨床	1	0	2	0	2	5
基礎	3	4	2	0	×	9



昭和59年(1984)年卒業アルバム

# 医学祭

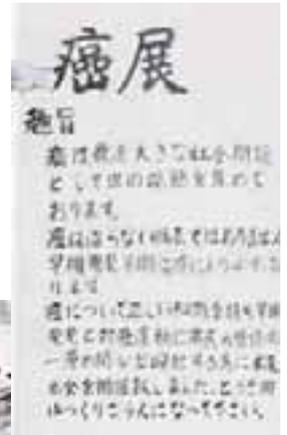
毎年秋に医学祭が行われます。学生が中心となって、自分らが学んだ知識を市民に発表する場です。健康を守るためのテーマが企画されます。



昭和35(1960)年卒業アルバム



昭和35(1960)年卒業アルバム



昭和54(1979)年卒業アルバム



昭和54(1979)年卒業アルバム



昭和58(1983)年卒業アルバム



昭和58(1983)年卒業アルバム



昭和61(1986)年卒業アルバム



平成15(2003)年卒業アルバム



平成17(2005)年卒業アルバム



平成20(2008)年卒業アルバム

# 園遊会

新潟大学医学部は教授と学生との交流も盛んです。毎年秋には園遊会を行っています。学生が余興をし、教授とともに酒を酌み交わしながら秋の一時を過ごします。



記念日余興  
大正9(1920)年卒業アルバム



記念日余興  
大正9(1920)年卒業アルバム



雨の園遊会 (1929.5.5新潟ホテル)  
昭和6(1931)年卒業アルバム



「大交響楽」  
昭和13(1938)年卒業アルバム



教授とともに(1972.5.13護国神社)  
昭和48(1973)年卒業アルバム



昭和58(1983)年卒業アルバム



昭和58(1983)年卒業アルバム



医学部創立75周年記念  
昭和62(1987)年卒業アルバム



医学部創立75周年記念  
昭和63(1988)年卒業アルバム

# ヒポクラテスの木

昭和44(1969)年の秋、蒲原宏先生は、ライデン大学で開催された日蘭文化交渉史シンポジウムでの講演の後、アテネ経由でコス島に渡りました。医聖ヒポクラテスがその下で弟子を教えたというプラタナスの木の下を訪れるのがその目的でした。

その木は警察署と市役所に囲まれる一角に枝を伸ばしておりました。眺めているうちに、ボンボン



「ヒポクラテスの木」の実

のようなその実を手に入れたという気持ちを抑えきれなくなられたようですが、観光地でもあり往來が多く行動に移せませんでした。これぞと思う実に目印をつけ、夜再度訪れ、首尾よく入手、そっと日本に持ち帰られたとのこと。

新潟に渡ってきた「ヒポクラテスの木」の実は、翌年の春に先生のお宅の庭で10本の芽を出しました。1本は、昭和47(1972)年、本学構内の中田瑞穂先生の碑文と共に移植されましたが、植えられた翌日の朝には何者かによって持ち去られてしまいました。再度先生のお宅から移植された木が、現在の構内に葉を繁らせている「ヒポクラテスの木」です。

残りの鈴掛の木は、それぞれ、九州大学、岡山大学、順天堂大学、東京大学、信州大学、聖マリアンナ大学、医歯薬出版、亀田第一病院に贈られています。

中田先生は、「やがて大夏木になれと植ゑらるゝ」の一句をもって植樹を祝われました。



蒲原 宏氏提供



昭和48(1973)年卒業アルバム



平成元(1989)年卒業アルバム



現在の「ヒポクラテスの木」。  
新病棟の玄関脇で大きく枝葉をひろげています  
平成22(2010)年6月撮影

# 第4章

## 昭和期 新潟大学医学部医学科時代



昭和24 (1949) 年国立大学設置法が公布され、人文学部、教育学部、理学部、医学部、工学部、農学部で構成された新潟大学が正式に発足しました。

昭和30 (1955) 年、それまで「プレメジカル」「理学部乙」とよばれていた教養課程が廃止され、「医学部進学課程」が設置されました。同時に新潟大学大学院医学研究科も設置されました。旭町地区は充実し、研究棟、附属病院、諸施設が整備されるとともに、看護学校・助産婦学校・衛生検査技師学校も併設されました。昭和40年 (1965年) の評議会において新潟大学が五十嵐地区に統合移転されることが決定されましたが、様々な過程を経て、医学部と歯学部は旭町に残り現在に至っています。

万代橋は昭和61年に100歳となり、記念のライトアップが開始されました。

昭和39年 (1964年) の新潟国体の開催に備えて万代橋の隣に八千代橋が架けられました。39年の新潟地震では昭和大桥も八千代橋も倒壊落橋しましたが、万代橋は一部の破損のみで新潟の東西の通行を維持してくれました。



「病理標本示説 藤巻教授」 昭和30(1955)年卒業アルバム



「放射線科ポリクリ 野崎教授」 昭和30(1955)年卒業アルバム



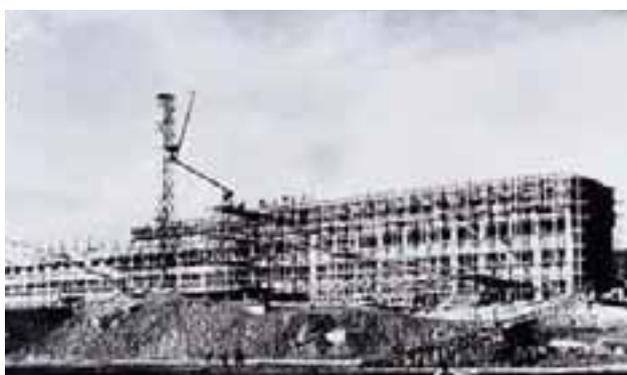
「病院復興」 昭和30(1955)年卒業アルバム



「病院復興」  
昭和30(1955)年卒業アルバム



「病院復興」  
昭和30(1955)年卒業アルバム



「病院復興」 昭和30(1955)年卒業アルバム



「卒業式全員写真」 昭和30(1955)年卒業アルバム



「附属病院全景」 昭和31(1956)年卒業アルバム



三代医学部長 伊藤辰治教授  
昭和31(1956)年卒業アルバム



「内科学(鳥飼)実習」 昭和31(1956)年卒業アルバム



「1955.10.1 新潟大火」

昭和31(1956)年卒業アルバム

### 新潟大火

火災が発生したのは、昭和30年10月1日午前2時50分ころでした。発生元は新潟市医学町一番町にあった新潟県教育庁(県庁第三分館)、現在のダイアパレス医学町の場所です。西からの強風により、火の手は東方向の東中通から西堀の新潟市街地へ向けて急速に広がりましたが、旭町地区は風上であったため、昭和26年の病院火災後に新築したばかりの附属病院と医学部は幸いにも類焼から免れることができました。



「港風景」 昭和31(1956)年卒業アルバム



「同級生一同」 昭和31(1956)年卒業アルバム  
堀田利雄氏提供



「クラス一同」 昭和32(1957)年卒業アルバム



「医学部正門」 昭和32(1957)年卒業アルバム



「学生参与」 昭和32(1957)年卒業アルバム



「学園全景」 昭和32(1957)年卒業アルバム



「病院スナップ」 昭和32(1957)年卒業アルバム



「学園全景」 昭和32(1957)年卒業アルバム



「学内スナップ」 昭和32(1957)年卒業アルバム



「EINE STUDENTENZEIT」 昭和33(1958)年卒業アルバム



昭和33(1958)年卒業アルバム



昭和33(1958)年卒業アルバム



昭和33(1958)年卒業アルバム



昭和33(1958)年卒業アルバム



「病院新館落成記念医学展示会」 昭和33(1958)年卒業アルバム



「日赤奉仕団」 昭和33(1958)年卒業アルバム



「薬理学」 昭和34(1959)年卒業アルバム



「病理学」 昭和34(1959)年卒業アルバム



「脳外科」 昭和34(1959)年卒業アルバム



「皮膚科」 昭和34(1959)年卒業アルバム



昭和34(1959)年卒業アルバム



「アルバム編集委員」 昭和34(1959)年卒業アルバム



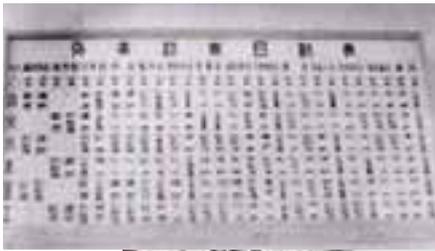
昭和34(1959)年卒業アルバム



「今村教授」 昭和35(1960)年卒業アルバム



「脳研究所」 昭和35(1960)年卒業アルバム



「学内風景」 昭和35(1960)年卒業アルバム



「河野教授」  
昭和35(1960)年卒業アルバム



昭和35(1960)年卒業アルバム



昭和36(1961)年卒業アルバム



「伊藤(辰治)学長」 四代医学部長 松田勝一教授  
昭和36(1961)年卒業アルバム



「生理 内園教授 小林(庄)教授」  
昭和36(1961)年卒業アルバム



「病理 藤巻教授 小野助教授」  
昭和36(1961)年卒業アルバム



「細菌 伊藤(泰)教授 宮村助教授」  
昭和36(1961)年卒業アルバム



昭和36(1961)年卒業アルバム



「Eines Tages」  
昭和36(1961)年卒業アルバム



第7回卒業アルバム表紙  
昭和36(1961)年



「小児科 小林教授」 昭和37(1962)年卒業アルバム



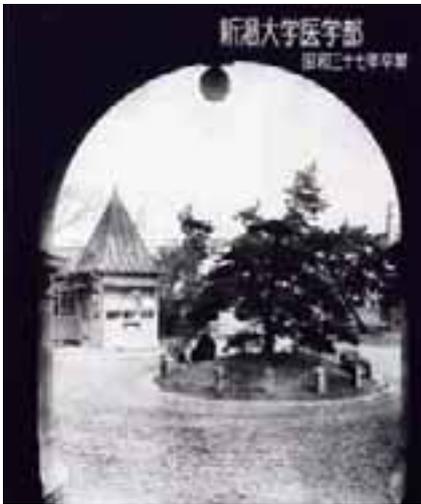
「精神神経学科 上村教授」 昭和37(1962)年卒業アルバム



「法医学 山内教授 茂野助教授」 昭和37(1962)年卒業アルバム



「泌尿器科 高安教授」 昭和37(1962)年卒業アルバム



昭和37(1962)年卒業アルバム



第8回卒業アルバム表紙  
昭和37(1962)年



昭和37(1962)年卒業アルバム



「医学部四年」 昭和38(1963)年卒業アルバム



「HYGIENE 渡辺教授」  
昭和38(1963)年卒業アルバム



「PHYSIOLOGIE 新島教授」  
昭和39(1964)年卒業アルバム



「OFFENTLICHE HYGIENE 野田助教授」  
昭和38(1963)年卒業アルバム



「ANATOMIE(I) 小片教授」  
昭和39(1964)年卒業アルバム



「Ite CHIRURGIE 植木教授」  
昭和38(1963)年卒業アルバム



「Ite INNERE MEDIZIN 木下教授」  
昭和38(1963)年卒業アルバム



昭和39(1964)年卒業アルバム



「OTO-RHINO-LARYNGOLOGIE 森本教授」  
昭和39(1964)年卒業アルバム



昭和39(1964)年卒業アルバム



「SOZIAL HYGIENE」  
昭和39(1964)年卒業アルバム



昭和39(1964)年卒業アルバム



昭和39(1964)年卒業アルバム



「GYNAKOTOKOLOGIE 小坂助教授」  
昭和38(1963)年卒業アルバム



昭和39(1964)年卒業アルバム



「ANATOMIE(II) 布施助教授」  
昭和40(1965)年卒業アルバム



五代医学部長 野崎秀英教授  
昭和40(1965)年卒業アルバム



「MEDIZINISCHE ZOOLOGIE 大鶴教授」  
昭和40(1965)年卒業アルバム



「CHIRURGIE(II)」  
昭和40(1965)年卒業アルバム



昭和40(1965)年卒業アルバム



「ANATOMIE(III) 水平教授」  
昭和40(1965)年卒業アルバム



「PHYSIOLOGIE(II) 島田助教授」  
昭和40(1965)年卒業アルバム



昭和41(1966)年卒業生 宮下正弘氏提供



昭和41(1966)年卒業アルバム



「公衆衛生学」

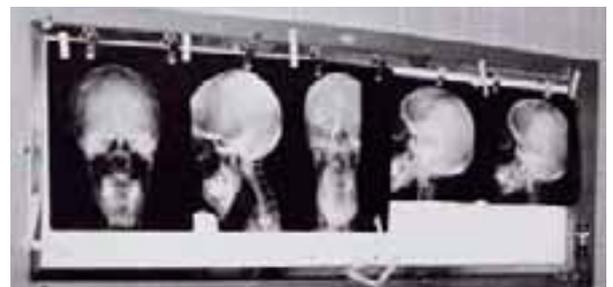
昭和41(1966)年卒業アルバム



昭和41(1966)年卒業アルバム



昭和41(1966)年卒業アルバム



昭和41(1966)年卒業アルバム



「薬理学」 昭和41(1966)年卒業アルバム



昭和41(1966)年卒業アルバム



昭和41(1966)年卒業アルバム

### 新潟地震

新潟地震は昭和39年6月16日午後1時1分に発生しました。新潟大火から復興したばかりの新潟市内、特に信濃川両岸は大きな被害を受けたましたが、この時も旭町地区への影響は軽微でした。



新潟日報提供



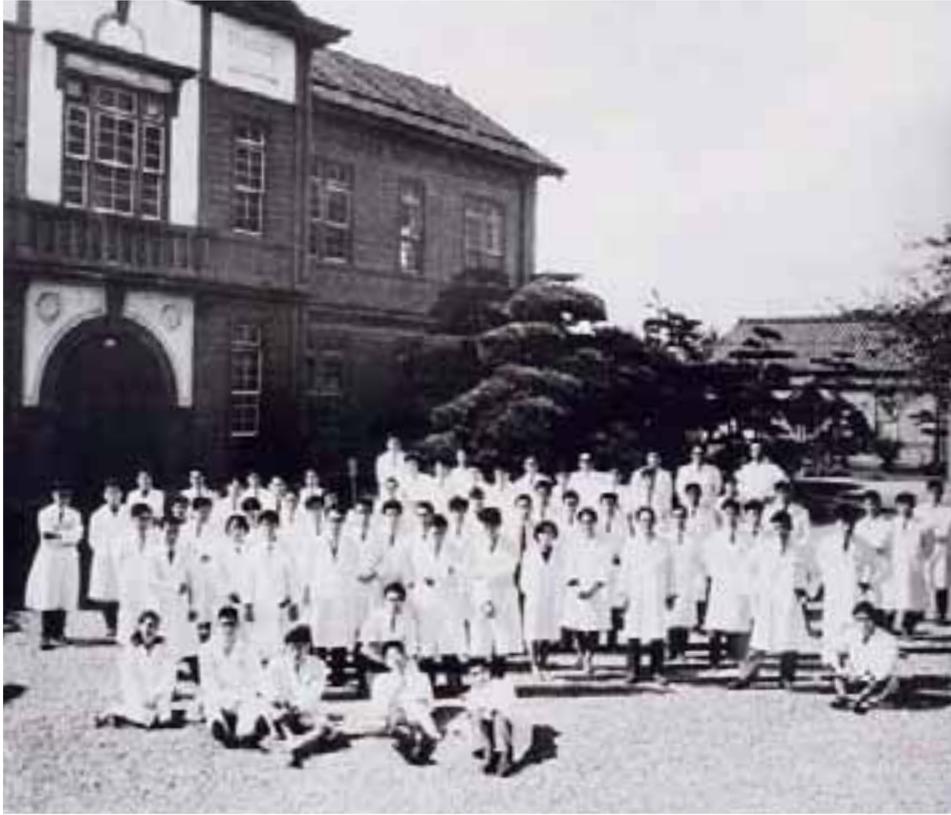
新潟日報提供



昭和40(1965)年卒業アルバム



昭和40(1965)年卒業アルバム



昭和42(1967)年卒業アルバム



六代医学部長 山内峻呉教授  
昭和42(1967)年卒業アルバム



【生化学】 昭和42(1967)年卒業アルバム



【麻酔科】 昭和42(1967)年卒業アルバム



【耳鼻咽喉科】 昭和42(1967)年卒業アルバム



【医動物学】 昭和42(1967)年卒業アルバム



昭和42(1967)年卒業アルバム



「第一内科学教室」 昭和43(1968)年卒業アルバム



七代医学部長 三国政吉教授  
昭和43(1968)年卒業アルバム



「放射線医学教室」 昭和43(1968)年卒業アルバム



「精神医学教室」 昭和43(1968)年卒業アルバム



「木下内科教室」 昭和43(1968)年卒業アルバム



「皮膚科学教室」 昭和43(1968)年卒業アルバム



昭和43(1968)年卒業アルバム





昭和44(1969)年卒業アルバム



昭和44(1969)年卒業アルバム



【Neurology Prof.Tsubaki】 昭和44(1969)年卒業アルバム



【はざ木の中】 昭和44(1969)年卒業アルバム



【新潟県庁】 昭和44(1969)年卒業アルバム



【新潟駅前】 昭和44(1969)年卒業アルバム



「卒業式」 昭和45(1970)年卒業アルバム



「第三内科講義風景」 昭和45(1970)年卒業アルバム



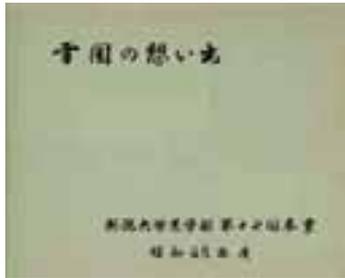
昭和45(1970)年卒業アルバム



昭和45(1970)年卒業アルバム



昭和45(1970)年卒業アルバム



第17回卒業アルバム扉  
昭和46(1971)年



昭和46(1971)年卒業アルバム



昭和46(1971)年卒業アルバム



昭和46(1971)年卒業アルバム



「学一 つつが虫のふるさとへ」 昭和46(1971)年卒業アルバム



「全共斗華やかなりし頃」  
昭和47(1972)年卒業アルバム



昭和46(1971)年卒業アルバム



「細菌学 ホラ! 今日も床下でガタガタ音がしますネー」  
昭和47(1972)年卒業アルバム



第18回卒業アルバム表紙  
昭和47(1972)年



「第一内科 松岡松三教授 ワタシは30年、医者をやってますが…」  
昭和47(1972)年卒業アルバム



「第一外科 武藤輝一教授 未来の教授は誰？」  
昭和47(1972)年卒業アルバム



「小児科 小林収教授 君達にはわかるまいワッハッハ」  
昭和47(1972)年卒業アルバム



「中央検査部」 昭和47(1972)年卒業アルバム



昭和47(1972)年卒業アルバム



昭和48(1973)年卒業アルバム



「眼科学教室 岩田教授」  
昭和48(1973)年卒業アルバム



八代医学部長 大鶴正満教授  
昭和48(1973)年卒業アルバム



「皮膚科学教室 医局」  
昭和48(1973)年卒業アルバム



「麻酔学教室 一柳教授」  
昭和48(1973)年卒業アルバム



「整形外科教室 田島教授」  
昭和48(1973)年卒業アルバム



昭和48(1973)年卒業アルバム



九代医学部長 北村四郎教授  
昭和49(1974)年卒業アルバム



昭和49(1974)年卒業アルバム



「丸山直滋教授 神経生理学Oh, my sun!」  
昭和49(1974)年卒業アルバム



「新島 旭教授 第一生理学」  
昭和49(1974)年卒業アルバム



昭和49(1974)年卒業アルバム



昭和49(1974)年卒業アルバム



昭和49(1974)年卒業アルバム



昭和50(1975)年卒業アルバム



昭和50(1975)年卒業アルバム



昭和50(1975)年卒業アルバム



「産科婦人科学教室 竹内正七教授」  
昭和50(1975)年卒業アルバム



昭和50(1975)年卒業アルバム



昭和51(1976)年卒業アルバム



昭和51(1976)年卒業アルバム



昭和51(1976)年卒業アルバム



昭和51(1976)年卒業アルバム



昭和51(1976)年卒業アルバム



昭和51(1976)年卒業アルバム



「医学部研究棟」 昭和52(1977)年卒業アルバム



昭和52(1977)年卒業アルバム



昭和52(1977)年卒業アルバム



昭和52(1977)年卒業アルバム



「かんぞうをたべるかい」 昭和52(1977)年卒業アルバム



「SAKE」 昭和52(1977)年卒業アルバム



昭和52(1977)年卒業アルバム



十代医学部長 宮村定男教授  
昭和53(1978)年卒業アルバム



昭和53(1978)年卒業アルバム



「砂漠に建った現代建築」 昭和53(1978)年卒業アルバム



「嗚呼何と幼き日々よ 確かA定90円・B定120円」  
昭和53(1978)年卒業アルバム



昭和53(1978)年卒業アルバム



昭和53(1978)年卒業アルバム



マッチ「ポケットの中の小さな思い出…」 昭和53(1978)年卒業アルバム



「法医実習にて」  
昭和54(1979)年卒業アルバム



十一代医学部長 渡辺 厳一教授  
昭和54(1979)年卒業アルバム



昭和54(1979)年卒業アルバム



「将来真ん中に座りたい」  
昭和54(1979)年卒業アルバム



「整形ポリクリ。茂木君の持っているものに注意。」  
昭和54(1979)年卒業アルバム



「11回医学展」  
昭和54(1979)年卒業アルバム



昭和54(1979)年卒業アルバム



「第4内科学教室」 昭和55(1980)年卒業アルバム



昭和55(1980)年卒業アルバム



「優秀な顔ぶれ」  
昭和55(1980)年卒業アルバム



「症例検討会？」  
昭和55(1980)年卒業アルバム



「ハトの糞をよけながら…ここで撮った班は他にない。」  
昭和55(1980)年卒業アルバム



「新潟あちらこちら」  
昭和55(1980)年卒業アルバム



昭和55(1980)年卒業アルバム



昭和56(1981)年卒業アルバム



昭和56(1981)年卒業アルバム



「最終講義にて」  
昭和56(1981)年卒業アルバム



昭和56(1981)年卒業アルバム



「公衆衛生学フィールドワークより」  
昭和56(1981)年卒業アルバム



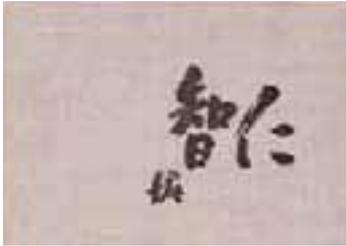
昭和56(1981)年卒業アルバム



「椿先生退官記念パーティ」 昭和57(1982)年卒業アルバム



昭和57(1982)年卒業アルバム



第28回卒業アルバム表紙  
昭和57(1982)年



「荒川教授を囲んで」 昭和57(1982)年卒業アルバム



「なつかしい煙突」  
昭和57(1982)年卒業アルバム



藤田教授を囲んで 昭和57(1982)年卒業アルバム



昭和57(1982)年卒業アルバム



「第三解剖グランプリ表彰式」  
昭和58(1983)年卒業アルバム



昭和58(1983)年卒業アルバム



十二代医学部長 茂野録良教授  
昭和58(1983)年卒業アルバム



「卒試まであと10日…」  
昭和58(1983)年卒業アルバム



「久しぶりに学校に来たら休講だった」  
昭和58(1983)年卒業アルバム



「懐かしの五十嵐キャンパス」  
昭和58(1983)年卒業アルバム



昭和58(1983)年卒業アルバム



「新潟大学学生歌」 昭和58(1983)年卒業アルバム



昭和59(1984)年卒業アルバム



昭和59(1984)年卒業アルバム



昭和59(1984)年卒業アルバム



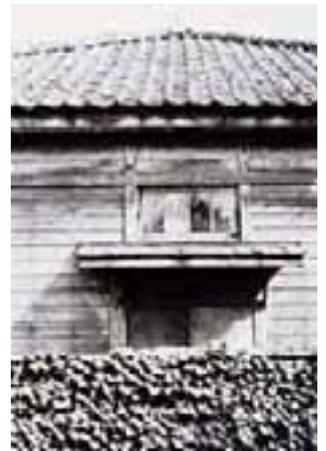
「卒業生を送る会」  
昭和59(1984)年卒業アルバム



昭和59(1984)年卒業アルバム



昭和59(1984)年卒業アルバム



「あの風景この風景」 昭和59(1984)年卒業アルバム



昭和60(1985)年卒業アルバム



昭和60(1985)年卒業アルバム



「解剖学実習」  
昭和60(1985)年卒業アルバム



「新大にも赤門はあるのだ！」  
昭和60(1985)年卒業アルバム



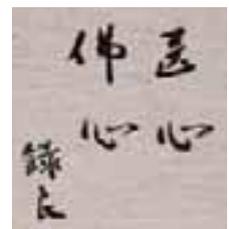
「卒業生を送る会」  
昭和60(1985)年卒業アルバム



昭和60(1985)年卒業アルバム



昭和60(1985)年卒業アルバム



第31回卒業アルバム表紙  
昭和60(1985)年



十三代医学部長 大西義久教授  
昭和61(1986)年卒業アルバム



昭和61(1986)年卒業アルバム



昭和61(1986)年卒業アルバム



「医学部創立75周年園遊会」 昭和61(1986)年卒業アルバム



昭和61(1986)年卒業アルバム



「医学部創立75周年園遊会」  
昭和61(1986)年卒業アルバム



昭和61(1986)年卒業アルバム



「茂野先生の告別式」 昭和62(1987)年卒業アルバム



昭和62(1987)年卒業アルバム



昭和62(1987)年卒業アルバム



「学Ⅲ」 昭和62(1987)年卒業アルバム



「講義中の風景」 昭和62(1987)年卒業アルバム



第33回卒業アルバム表紙  
昭和62(1987)年



昭和62(1987)年卒業アルバム



昭和63(1988)年卒業アルバム



昭和63(1988)年卒業アルバム



昭和63(1988)年卒業アルバム



昭和63(1988)年卒業アルバム



昭和63(1988)年卒業アルバム



昭和63(1988)年卒業アルバム



昭和63(1988)年卒業アルバム

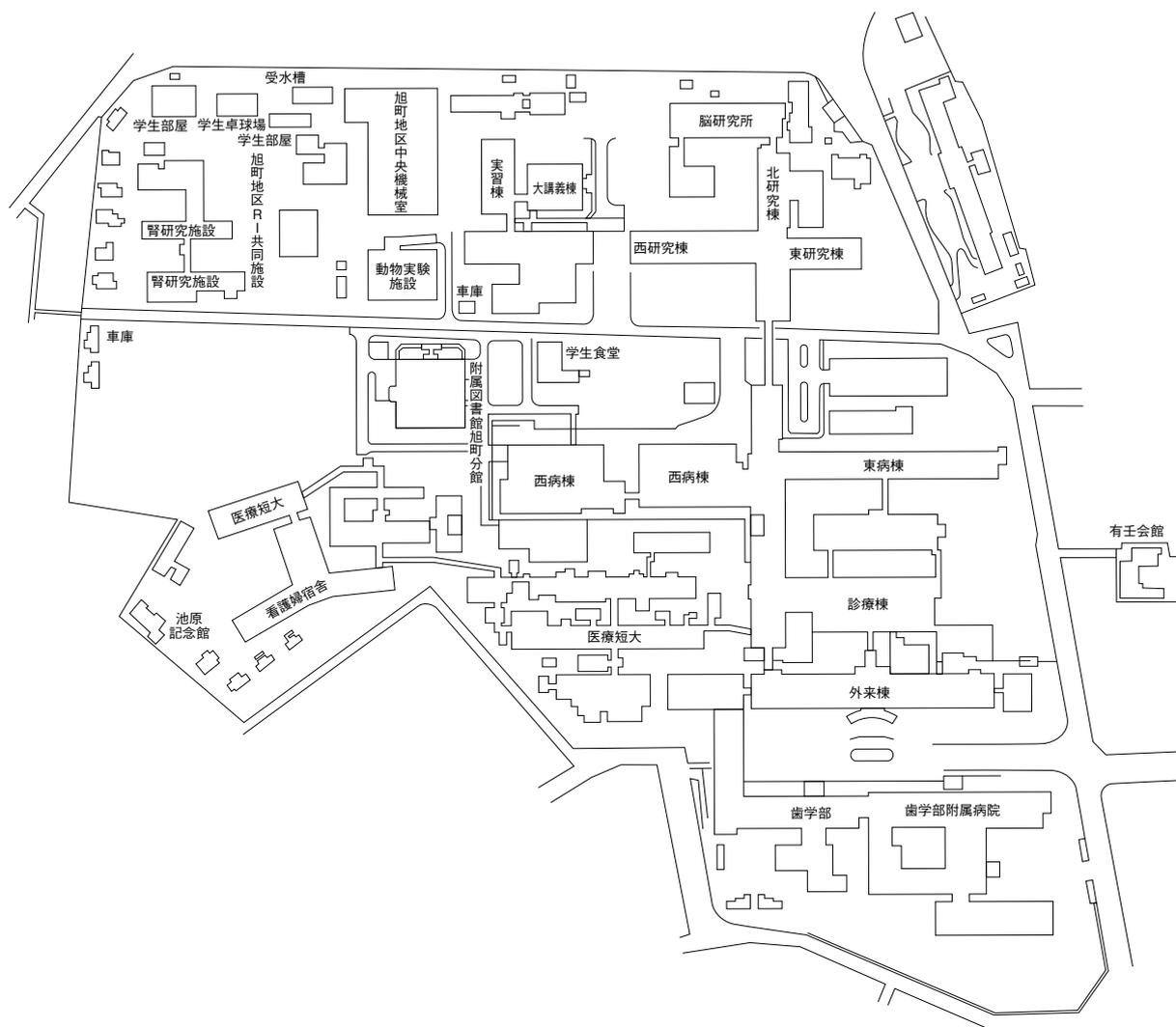


昭和63(1988)年卒業アルバム



昭和63(1988)年卒業アルバム

建物配置図  
昭和57(1982)年度



昭和58(1983)年卒業アルバム

# 第5章

## 平成期 新潟大学医学部医学科・大学院医歯学総合研究科時代



昭和から平成へ移行しさらに学内の整備はさらに充実しました。医学部と歯学部は平成13（2001）年4月に一部局化され「大学院医歯学総合研究科」となり、平成15（2003）年には「医学部附属病院」と「歯学部附属病院」が統合され、「新潟大学医歯学総合病院」となりました。全学のアルバムが編集されるようになったこともあって、平成の卒業アルバムはABCDの流れとはかなり趣を異にしています。



平成元(1989)年卒業アルバム



平成元(1989)年卒業アルバム



平成元(1989)年  
卒業アルバム



平成元(1989)年卒業アルバム



平成元(1989)年卒業アルバム



平成元(1989)年卒業アルバム



平成元(1989)年卒業アルバム



平成2 (1990)年卒業アルバム



平成2 (1990)年卒業アルバム



平成2 (1990)年卒業アルバム



平成2 (1990)年卒業アルバム



平成2 (1990)年卒業アルバム

### 有壬記念館

昭和57(1982)年4月、正式な学生会館「有壬記念館」の建設の検討が開始されました。関係者の努力と学生会員などからの4600件を越える寄付により12月に起工、昭和60(1985)年9月28日に75周年記念式典と同時に竣工式が開催されました。同年10月から使用が開始され、学生会事務局の仕事、各種の学生会活動や研究会活動の中心となってきました。

学生会には「有壬会」という副題があります。昭和30(1955)年の学生会理事会で正式に決定された呼び名です。「有壬」は詩教小雅の一節「有壬有林」に由来します。



平成2 (1990)年卒業アルバム



平成2 (1990)年卒業アルバム



平成3(1991)年卒業アルバム



十四代医学部長 武藤輝一教授  
平成4(1992)年卒業アルバム



「第32回東日本医科学生総合体育大会 主管&優勝!お疲れ様でした」  
平成3(1991)年卒業アルバム



平成3(1991)年卒業アルバム



平成3(1991)年卒業アルバム



平成4(1992)年卒業アルバム



平成4(1992)年卒業アルバム

平成4(1992)年卒業アルバム



平成4(1992)年卒業アルバム



平成4(1992)年卒業アルバム



第38回卒業アルバム表紙  
平成4(1992)年



平成5(1993)年卒業アルバム

この100年間のアルバムの大半には全員の集合写真が各学年複数掲載されています。各時代に撮影場所のトレンドがあったのでしょうか、時代によって集合場所が変化しています。大正時代は本館講堂前での撮影の他に、おそらく実習で訪れた浄水場や測候所での集合写真が多く見られます。その後になりますと、病院外来玄関下の階段、医学部の屋上、大学本部前そして医学部研究棟と医学部附属病院の間の中庭と移り変わってきています。その中庭の集合写真撮影場所も少しずつ変化してきました。

現在医歯学総合病院の西病棟が建っている場所は、平成10年ころまでの数年間、職員や学生、患者さんや小さいお子さんも憩うことができる、遊歩道付きの広い芝生の庭だったのですが、これも既に歴史になってしまいました。



十五代医学部長 柴田 昭教授  
平成5(1993)年卒業アルバム



平成5(1993)年卒業アルバム



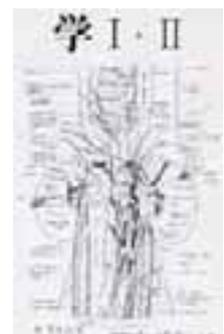
【講義風景】  
平成5(1993)年卒業アルバム



平成5(1993)年卒業アルバム



平成5(1993)年卒業アルバム



平成5(1993)年卒業アルバム



「progress」 平成6(1994)年卒業アルバム



平成6(1994)年卒業アルバム



「As they are」  
平成6(1994)年卒業アルバム



「Departure」 平成6(1994)年卒業アルバム



平成6(1994)年卒業アルバム



平成6(1994)年卒業アルバム



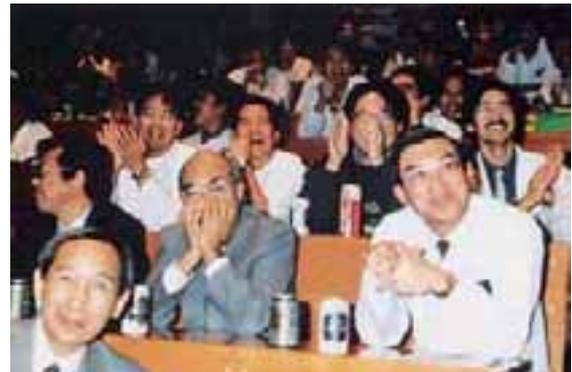
「学Ⅰ」平成7(1995)年卒業アルバム



「学Ⅳを送る会」平成7(1995)年卒業アルバム



「学Ⅲ」平成7(1995)年卒業アルバム



「学Ⅳを送る会」平成7(1995)年卒業アルバム



平成7(1995)年卒業アルバム



「街」平成7(1995)年卒業アルバム



平成7(1995)年卒業アルバム



「キャンパスライフ」 平成8(1996)年卒業アルバム



十六代医学部長 荒川正昭教授  
平成8(1996)年卒業アルバム



平成8(1996)年卒業アルバム



「校舎点描」 平成8(1996)年卒業アルバム



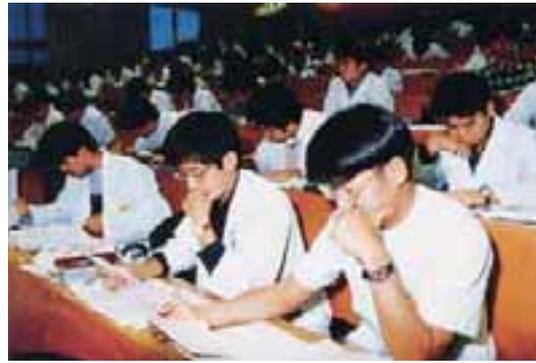
「卒業式」 平成8(1996)年卒業アルバム



平成8(1996)年卒業アルバム



「講義風景」 平成9(1997)年卒業アルバム



平成9(1997)年卒業アルバム



「最後の BST 畠山教授と共に」 平成9(1997)年卒業アルバム



第43回卒業アルバム表紙  
平成9(1997)年



「病院実習の帰りにちょっと寄り道 in エチゴビール」  
平成9(1997)年卒業アルバム



「学部Ⅲ年 公衆衛生実習発表」 平成9(1997)年卒業アルバム



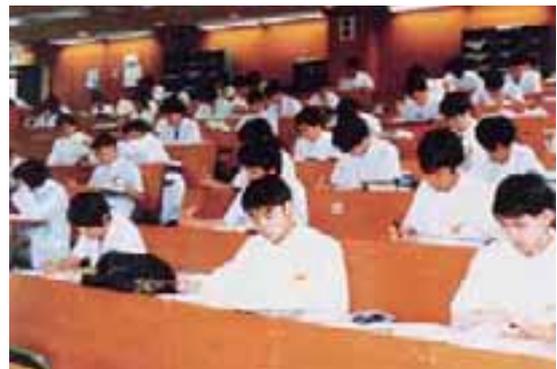
平成9(1997)年卒業アルバム



平成10(1998)年卒業アルバム



平成10(1998)年卒業アルバム



「講義風景」 平成10(1998)年卒業アルバム



「肝食会」 平成10(1998)年卒業アルバム



「5年生10月法医学実習」  
平成10(1998)年卒業アルバム



「5年生10月医学部ダンスパーティー」 平成10(1998)年卒業アルバム



「5年生10月法医学実習」 平成10(1998)年卒業アルバム



平成11(1999)年卒業アルバム



十七代医学部長 岩淵 眞教授  
平成11(1999)年卒業アルバム



平成11(1999)年卒業アルバム



平成11(1999)年卒業アルバム



平成11(1999)年卒業アルバム



平成11(1999)年卒業アルバム



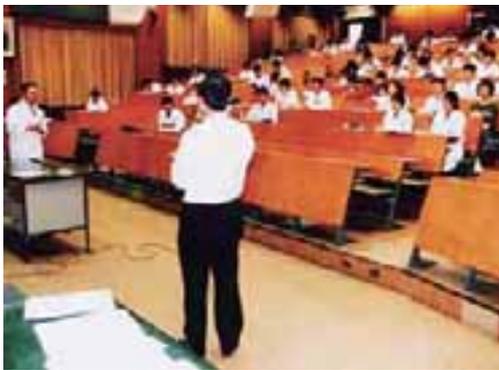
平成11(1999)年卒業アルバム



「僕らの新潟」 平成11(1999)年卒業アルバム



平成12(2000)年卒業アルバム



「授業風景」 平成12(2000)年卒業アルバム



平成12(2000)年卒業アルバム



平成12(2000)年卒業アルバム



平成12(2000)年卒業アルバム



「卒業式」 平成12(2000)年卒業アルバム



平成13(2001)年卒業アルバム



平成13(2001)年卒業アルバム



【講義】 平成13(2001)年卒業アルバム



平成13(2001)年卒業アルバム



平成13(2001)年卒業アルバム



平成13(2001)年卒業アルバム



平成13(2001)年卒業アルバム



平成14(2002)年卒業アルバム



十八代医学部長 山本正治教授  
平成14(2002)年卒業アルバム



「メモリー」 平成14(2002)年卒業アルバム



「講義」 平成14(2002)年卒業アルバム



「ポリクリ」 平成14(2002)年卒業アルバム



「謝恩会」 平成14(2002)年卒業アルバム



平成14(2002)年卒業アルバム



「校舎点描」 平成15(2003)年卒業アルバム



「講義風景」 平成15(2003)年卒業アルバム



平成15(2003)年卒業アルバム



平成15(2003)年卒業アルバム



平成15(2003)年卒業アルバム



「卒業式」 平成15(2003)年卒業アルバム



平成15(2003)年卒業アルバム



平成16(2004)年卒業アルバム



「講義風景」 平成16(2004)年卒業アルバム



「講義風景」 平成16(2004)年卒業アルバム



平成16(2004)年卒業アルバム



平成16(2004)年卒業アルバム



「勉強会」 平成16(2004)年卒業アルバム



平成16(2004)年卒業アルバム



平成17(2005)年卒業アルバム



平成17(2005)年卒業アルバム

### 新病棟建築

旭町地区全体の再開発計画構想は昭和63(1988)年2月に開始されました。平成10(1998)年3月から病棟第一期(西病棟)工事が着工され、病棟第二期(東病棟)は平成17年8月に竣工となりました。平成21年10からは中央診療棟が新築され、日本海側で最初の高次救命災害治療センターの稼働を始めました。



「講義風景」 平成17(2005)年卒業アルバム



第51回卒業アルバム表紙  
平成17(2005)年



平成17(2005)年卒業アルバム



「細菌学実習」 平成18(2006)年卒業アルバム



平成18(2006)年卒業アルバム



「講義風景」 平成18(2006)年卒業アルバム



平成18(2006)年卒業アルバム

### 新潟県中越地震

平成16(2004)年10月23日午後5時56分に発生した新潟県中越地震により、中越地区は甚大な被害を受けました。大きな余震が続くなか、新潟大学医歯学総合病院は医療支援活動を行いました。

地震発生直後には整形外科と外科チームが自主的な被災医療機関への支援活動を開始し、翌日には院内に支援対策本部が設置されました。そして4内科(一・二・三・神内)の医師派遣とともに、避難住民に対する巡回診療のため、医師、薬剤師、看護師、技師からなる2チームの医療班が編成されました。



竜光地区避難所(平成16年10月29日)  
有壬だより第35号より



平成18(2006)年卒業アルバム



「講義風景」 平成19(2007)年卒業アルバム



「講義風景」 平成19(2007)年卒業アルバム



十九代医学部長 内山 聖教授  
平成19(2007)年卒業アルバム



平成19(2007)年卒業アルバム



「ポリクリ」 平成19(2007)年卒業アルバム



平成19(2007)年卒業アルバム



平成19(2007)年卒業アルバム



平成20(2008)年卒業アルバム



平成20(2008)年卒業アルバム



平成20(2008)年卒業アルバム

### 新潟大学病院 DMAT 誕生

「災害急性期に活動できる機動力を持ったトレーニングを受けた医療チーム」であるDMATは医師2名、看護師2名、調整員1名の5名前後で構成され、全国災害拠点病院を中心に配置されている特殊な医療チームです。

新潟大学医歯学総合病院も国立病院機構災害医療センターに人員を派遣し訓練と試験を受け、平成20(2008)年1月18日より新潟大学病院DMATとしての活動を開始しました。この年の6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震の際にも出動し、東北地域のDMATチームと共に活動しました。

DMAT: Disaster Medical Assistant Teamの略。



有壬だより42号より



「校舎点描」 平成21(2009)年卒業アルバム



「思い出」  
平成21(2009)年卒業アルバム



平成21(2009)年卒業アルバム



平成21(2009)年卒業アルバム



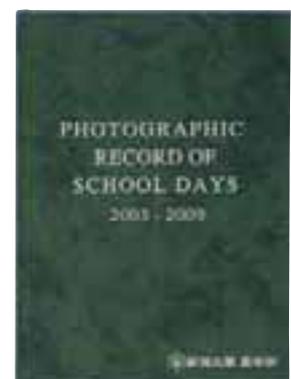
平成21(2009)年卒業アルバム



「卒業式」下條文武学長  
平成21(2009)年卒業アルバム



平成21(2009)年卒業アルバム



第55回卒業アルバム表紙  
平成21(2009)年



2007年度 ロシア交換留学



二十代医学部長 高橋 姿教授

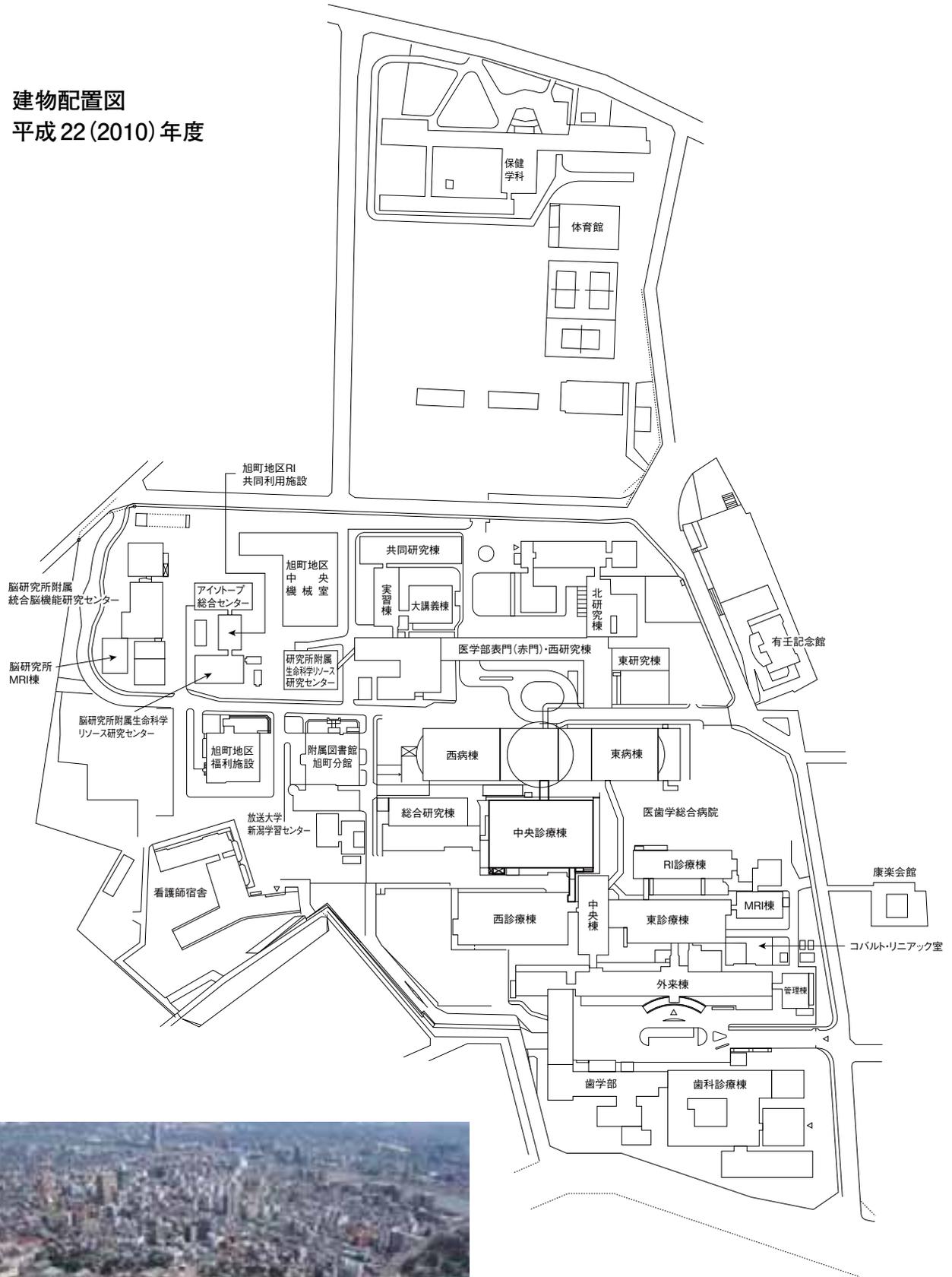


2004年 東医体優勝



平成22(2010)年卒業生 アルバム委員提供

建物配置図  
平成22(2010)年度



平成21(2009)年撮影

## 編集後記

---

平成21年4月14日に開催された第1回のアルバム編集会議から約1年半後、なんとか刊行に漕ぎ着けたというのが正直な感想である。

過去には、節目毎に記念史の刊行は行なわれてきたが、記念アルバムの刊行は医学部100年の歴史の中で今回がはじめてである。基本的には、旭町図書館に寄贈されている卒業アルバムを基に編集を行なったが、古いアルバムの写真一枚一枚には訴えかけるものが多く、編集を忘れつつ見入ってしまうことも多々あった。掲載したいものが多く、写真の選択に頭を悩ませることも度々であった。一方、最近のアルバムは個人主義的な色彩の強い写真が増え、記念アルバムに掲載したいと思う写真は決して多くはなく、逆の意味で頭を悩ませたというのが偽らざる感想である。

この度の編集を通じ、卒業アルバムひとつをとってみても、それが医学部の貴重な文化遺産であることを再認識させられた。そのため、貴重な遺産を劣化させず後世に残すことも重要な仕事と考え、編集と並行して卒業アルバムの写真などのデジタル保存化を行ってきた。ほとんど劣化しないこれらのデジタル画像が100年後の創立200周年記念に役買ってくれればと思うのは夢物語であろうか。

最後に、創立以来はじめての記念すべき事業に携わることのできた幸運と編集にご協力いただいた諸先生、学生諸氏、事務方の皆様に感謝するとともに、編集をサポート下さった100周年記念事業準備室の小泉洋一、丸山 理の両氏、編集の専門家として適切なアドバイスを下さった博進堂の星野景子女史、編集の終盤青息吐息になった私を支えて下さった追手 魏学会会長ならびに編集委員諸氏に心から感謝の意を表したい。そして、序章にある赤門、煉瓦塀、それに隣接する3本の松を後世に伝えていくことは私たち医学部学士会員に課せられた使命であると思ふ。

光学医療診療部  
成澤林太郎 (D54)

---

編集委員長の成澤先生、事務担当の小泉さんと丸山さん、博進堂の星野さんを遙か後ろから追いかけてながらの3年間でした。月一回の編集委員会では100年間のアルバムの中の先輩後輩、教官の先生方ほぼ全員にお会いできました。この小さいtime tripが私の宝物になったことは間違いなく、大変幸せな仕事を担当させて頂いたと思っています。多くの本学の

伝統に触れて改めて身が引き締まる思いも致しました。新しい100年が始まります。若い学士会員の皆様、数年数十年後にこのアルバムを再び眺めて下さる日を想像しております。

保健学科  
成田美和子 (D57)

---

アルバム編集委員に名前を連ねておりますが、今の部署に所属が替わった時期だったこともあって、委員らしいことは何もできなかった、というのが本当のところ。すべては他の委員の先生方のご尽力によるもので、編集後記に名前を連ねることも恐縮に思っております。

新潟大学危機管理室  
鳥谷部真一 (D61)

---

編集に際し、新潟大学医学部は地域とともにこの100年の伝統を築き上げてきたということ強く感じました。もちろん、医学部黎明期のアルバムの中の師や学生の眼差しからは、中央や世界に追いつけ、追い越せの気概を見てとれましたが、その礎になったものは新潟の気候や風土、文化にあったのではないかと思います。グローバル化が唱えられている昨今ですが、すべての医学部で同じ診療、研究、教育をする必要はありません。我々は、この古き良き伝統を守りながら、その上に決して胡坐をかきことなく、地域に根ざした特色のある独自の新しい歴史を積み重ねていくことが大切なのではないでしょうか。

第一外科  
飯合恒夫 (D63)

---

思いがけなく新潟大学医学部創立100周年記念アルバム集編纂に携わることとなり、貴重な経験をすることができました。声をかけられたときは戸惑いましたが大学に在籍している以上、微力でもお手伝いできればと思い、参加させていただきました。数多くの写真を委員の諸先生方と眺めながら、本学医学部の100年の来し方に思いを馳せることができました。そして同時にこれから始まる100年の道に思いを新たにしました次第です。

100年の 来し方見れば 先達の  
歩みし道に 行く方を診る

総合地域医療学講座  
井口清太郎 (DH06)



## 新潟大学医学部100周年記念アルバム

2010年6月26日発行

---

編集・発行 新潟大学医学部創立100周年記念事業準備会  
新潟大学医学部学士会  
〒951-8122 新潟市中央区旭町通1-757  
TEL 025-227-2037

---

題字 武藤輝一

---

制作 株式会社 博進堂  
アイドマ  
印刷 株式会社 博進堂  
製本 株式会社 渋谷文泉閣